

全国支部長会議は、東京農業大学の発展に寄与することを再確認する場として、毎年2月に開催しています。昨年、秋の「プロック会議」での意見・要望などについて、本日の会議に提起していただき、組織的な検討を行いつつ、校友会ならびに母校の発展に資する重要な会議です。

皆さまが、等しく、校友会活動の目的を共有されるときにも、有意義な会議にしたいと思っています。

また、ご来賓の先生方には、校友会が抱えている問題について、現場の生の声を聞いていただき、親しくご指導いただければ幸いです。

◆ 全国支部長会議 あいさつ 要旨 ◆



いします。

5月には、29年度通常総会が厚木キャンパスで開催され、農学部教職員・学生に大歓迎していただき、感激いたしました。

9月には、平成30年度地域後継者入試の受験希望者についてご推薦をいただき、11月に74名の合格を認めていただきました。大学関係者に心よりお礼申し上げます。

10月の箱根駅伝予選会では、残念な結果に終わりましたが、今年も箱根に出場することができました。母校・農大のたすきが箱根を走る姿は、われわれ校友の共有の願いであり、大学と一体となって駅伝部強化の具体的な支援活動を行う必要がある時期がきたと判断いたしました。

具体的には、箱根駅伝強化のための「募金」を始めるもので、本部提案にご賛同賜りたくお願いいたします。

125周年募金は、皆さまのご尽力のお陰で、校友会目標2億円に対して、約138%の2億7600万円に達しました。ご協力賜りました皆さまには、心より感謝申し上げます。

大学の発展方向の中で、支部長各位のご意向を踏まえ、校友会も新たな対応に取り組んでいく必要があるものと考えております。

全国支部長会議の開会にあたり一言、あいさつ申し上げます。平素、ご支援ご協力を賜っており感謝しております。

学校法人で進めてまいりました稲花小学校が来年4月に72名の児童を迎え開校いたします。東京23区内では約60年ぶりの小学校の開校です。農大の伝統と教育研究の成果が地域の人たちや小学校教育関係者に評価された結果です。

専門部の歴史を引き継いで昭和25年に開学した短期大学が、残念ながら70年近くの歴史に幕を閉じ、去る2月24日に開学式を行いました。この間、短期大学は優秀な卒業生を多数輩出し、社会から高い評価をいただけてきましたが、社会経済の変貌など産業の高度

平成25年から5年間、校友の皆さまにご協力いただきました125周年記念事業資金の募金が3月で終了します。全体実績は4億4000万円・達成率は60%でしたが、校友あるいは校友企業の方々から6割を上回るご寄付をいただきました。この場から心よりお礼申し上げます。

現在、学校法人は大学・高校・中学と八つの学校を設置しており、学生生徒数は合計で1万9200人、教職員は非常勤を含め1800人です。大・高・中、農場など敷地が360ヘクタール、講義棟など建物約270棟で10万坪、法人総資産額は1550億円、借入金ゼロという現況で、全国の私学でも大手の学校法人に発展しています。これもひと

化・複雑化に伴い就職条件の悪化が顕著になったことなどを見据え、大学改革の取り組みを進めています。

学校法人で進めてまいりました稲花小学校が来年4月に72名の児童を迎え開校いたします。東京23区内では約60年ぶりの小学校の開校です。農大の伝統と教育研究の成果が地域の人たちや小学校教育関係者に評価された結果です。

専門部の歴史を引き継いで昭和25年に開学した短期大学が、残念ながら70年近くの歴史に幕を閉じ、去る2月24日に開学式を行いました。この間、短期大学は優秀な卒業生を多数輩出し、社会から高い評価をいただけてきましたが、社会経済の変貌など産業の高度

平成25年から5年間、校友の皆さまにご協力いただきました125周年記念事業資金の募金が3月で終了します。全体実績は4億4000万円・達成率は60%でしたが、校友あるいは校友企業の方々から6割を上回るご寄付をいただきました。この場から心よりお礼申し上げます。

現在、学校法人は大学・高校・中学と八つの学校を設置しており、学生生徒数は合計で1万9200人、教職員は非常勤を含め1800人です。大・高・中、農場など敷地が360ヘクタール、講義棟など建物約270棟で10万坪、法人総資産額は1550億円、借入金ゼロという現況で、全国の私学でも大手の学校法人に発展しています。これもひと

来賓祝辞

東京農業大学長・同短期大学部学長 高野 克己

要旨

中て学部で吸収いたしました。短期大学の卒業生は全国各地の現場で活躍しておりますのでご支援方よろしくお願いいたします。

海外の大学、国内有名企業および地方自治体との連携協定を進めています。とりわけ地方自治体とは、自

来賓祝辞

東京農業大学長・同短期大学部学長 高野 克己

要旨

中て学部で吸収いたしました。短期大学の卒業生は全国各地の現場で活躍しておりますのでご支援方よろしくお願いいたします。

海外の大学、国内有名企業および地方自治体との連携協定を進めています。とりわけ地方自治体とは、自

来賓祝辞

東京農業大学長・同短期大学部学長 高野 克己

要旨

中て学部で吸収いたしました。短期大学の卒業生は全国各地の現場で活躍しておりますのでご支援方よろしくお願いいたします。

海外の大学、国内有名企業および地方自治体との連携協定を進めています。とりわけ地方自治体とは、自

来賓祝辞

東京農業大学長・同短期大学部学長 高野 克己

要旨

中て学部で吸収いたしました。短期大学の卒業生は全国各地の現場で活躍しておりますのでご支援方よろしくお願いいたします。

海外の大学、国内有名企業および地方自治体との連携協定を進めています。とりわけ地方自治体とは、自



百周年記念講堂で行われた式典



東京農大貢献賞を受賞し、講演をする尾畑教授

例年6月に開催されていたホームカミングデーは、平成29年は「創立記念を祝う会並びに第17回東京生特別表彰があり、代表して秋丸明文さん(昭53経)がお礼のあいさつをした。

また、今年度から新設された東京農大貢献賞は、生命科学部バイオサイエンス学科の尾畑やよい教授に授与され、校友会から副賞が贈られた。受賞後、「卵子形成を再現する体外培養系の開発」について講演した。



親子三代卒業生特別表彰を受賞された皆さん

農大ホームカミングデーとして世田谷キャンパス収獲祭初日の11月3日、百周年記念講堂で校友や教職員が出席して開かれた。

式典では高野克己学長の式辞、学校法人大澤貴寿理事長の祝辞の後、校友会の千葉県支部、福井県支部、東京都支部、長野県支部、茨城県支部から推薦された5組の親子三代卒業生

ホームカミングデーで親子三代卒業生表彰

農大貢献賞を新設

今年6月16日に

為末氏の講演も

平成30年度の「創立記念を祝う会並びに第18回東京農大ホームカミングデー」が6月16日(土)、世田谷キャンパスの百周年記念講堂で開かれる。親子三代表彰、東京農大貢献賞表彰などが行われる。特別記念講演は元プロ陸上競技選手の為末大氏(写真)。

懇親会の他、来場者には記念品の配布もある。振るってご参加ください。詳しくは、同封のリーフレットをご覧ください。

定年を迎えた先生

本橋 強 教授

生物資源開発学科で勤務されています。

山口 正己 教授

昭和51年東京農業大学農学部農学科卒業。55年東京農業大学農学研究科農学専攻博士課程満期退学。56年農学部農学科無給副手に就任。有給副手、助手、講師、平成2年博士（農学）の学位を取得し、准教授を経て、24年に教授に昇格。これだけ多くの職階を経験した教員はほとんどいないと研究室で自慢されています。

専攻は、植物育種学、植物進化学です。元進化生物学研究所所長・東京農業大学名誉教授の故近藤典生先生に憧れ、農大では育種学を専攻しました。その影響もあってか、高等植物（オニソテツ、ヒガンバナ科、アヤメ科）はもちろんのこと魚類（マラウイ湖産シクリッド）、両生類（ヤドクガエル）、爬虫（はちゅう）類（ハミルトンクサガメ、カメレオン）、鳥類（エボシドリ類）を自宅で栽培・飼育され、出張時にはこれらの管理のために研究室の学生が駆り出されることもあります。

教育面では、世田谷キャンパス時代に約70人の学生、厚木キャンパス時代に約220人の学生の卒業論文の指導をされました。世田谷キャンパスでは生物愛好会の顧問を、厚木キャンパスでは弓道部の顧問をされ、学生の課外活動の指導をされました。なお、30年4月からは、新設の農学部

多大な貢献をされました。

池田 周平 教授

昭和52年3月東京農業大学大学院農学研究科農学専攻を単位修得満期退学、同年4月から東京農業大学短期大学厚木農場に有給副手として勤務。57年10月から専任助手、講師、平成2年4月から農学部富士農場に移動、13年4月農学部畜産学科に所属変更、同年に博士（畜産学）の学位を取得、14年助教教授、17年には、日本養豚学会学術賞（丹羽賞）を受賞されました。19年教授に昇格。

研究面では、一貫して家畜（動物）、特に豚を対象とした栄養摂取ならびに飼育管理技術の確立に取り組まれ、肥育効率向上に関して実践的な研究を研さんし、多くの成果を関連学会に報告されました。

学内の学生指導では、農友会厚木支部卓球部の立ち上げ、収穫祭では、体育祭副部長を務められました。

学外では、綾瀬市農業編マスタートプラン策定委員会委員、日本養豚学会理事、日本畜産学会理事、私立大学畜産学教育研究会会長、関東畜産学会理事、日本ペット栄養学会代議員などの要職を務められました。

また、学外の子どもから大人を対象とした畜産現場を体験する講座を担当し、一般の方々の家畜や畜産物に対する理解を高める実践教育にも尽力されました。

退職後は、非常勤講師として引き続き学生指導に当たっていただいています。

信岡 誠治 教授

昭和50年日本獣医畜産大学畜産学科（現在、日本獣医生命科学大動物科学科）卒業。52年岐阜大学大学院農学研究科畜産経営学専攻修士課程修了。博士（農学）。52年から全国農業会議所勤務。平成17年東京農業大学農学部畜産学科非常勤講師を経て、18年に東京農業大学農学部畜産学科助教教授に就任。19年に准教授となり畜産マネジメント研究室の立ち上げに尽力され、28年から教授に昇格されました。

研究活動は、飼料用米を軸に生産から流通保管、各家畜への給与と技術の開発さらには販売流通まで一貫した研究に取り組まれ、実学主義を貫かれました。

学外では先端技術を活用した農林水産研究高度化事業の外部有識者として研究評価を担った他、国の事業である米活用畜産物等ブランド化推進事業の推進検討会や飼料用米利用推進事業の検討委員会の座長をされています。

本学の東日本支援プロジェクトでは、水田や牧草地の除染対策に取り組まれ、飼料用米、稲発酵粗飼料（WCSⅡホールクロップサイレージ）、牧草などの放射能汚染の実態を明らかにし、除染技術の開発と稲作農家や酪農家の復興に尽力されました。学内では、軽音楽部部长を務められるなど、学生指導にも貢献されました。

宮林 茂幸 教授

幸運と素晴らしい校友

に深謝

昭和50年10月、水河期と称された就職戦線に対して一心不乱にアタックしていました。多くの企業の門をたたき、あまり乗り気でないある木材加工業に内定していました。

そのような時に、声を掛けてくれたのが塩谷勉教授でした。もう少し大学生生活をエンジョイしようかと一番目の運に身を任せました。

採用は実験助手。一年ごとの更新で、将来助手や講師など教職の道が約束されているものではなく、塩谷教授の退職と同時に辞めることになっていました。

ところが、2年たつと第二の運に恵まれ、助手の道が開かれました。そこでいただいた研究テーマが森林の厚生の機能についてで、後に森林レクリエーション利用に関するわが国初の研究となり、第三の運に遭遇することになります。究極は、群馬県川場村との出会いです。造園学科に赴任された鈴木忠義先生と塩谷先生を結び、都市と農山村交流の先駆けであり、37年間の交流事業に関わる中で、今では190万人を超す農業＋観光による交流の地に発展しています。

高度経済成長が終焉（しゅうえん）し、低成長期に入ると、中流階級社会や総レジャーブームが台頭し、森林レクリエーション研究は大きく発展しました。また農山村は、第二の過疎化が明らかになり、地域振興や地域づくりとしての森林レクリエーション研究が活発になりました。

そのような中で、「美しい森林づくり全国推進会議」や「農山村支援センター」「多摩川源流大学」など多くのプロジェクトを推進できたのは、運もさることながら、素晴らしい学生たちと全国各地で活躍されている校友諸兄のご鞭撻（べんたつ）のたまものと、心から感謝申し上げます。

渡部 俊弘 教授

昭和54年東京農業大学大学院農学研究科農芸化学専攻修士課程を修了され、同年から北海道栄養短期大学（現・北海道文教大学）に勤務され、平成元年からは東京農業大学生物産業学部食品科学科（現・食香粧化学科）に講師として採用されました。8年に、博士（農芸化学）の学位を取得し、同年、カナダ国立研究所に依命留学され、12年教授に昇格されています。

研究面では、ボツリノス毒素複合体の構造と機能に関する研究に従事されました。以来、毒素複合体の立体構造を世界で初めて解明されるなど、同分野において世界を牽引する功績を挙げられました。

一方、北海道オホーツクキャンパスの所在地である網走市で、オーストラリア原産のエミューを導入し、学部コンセプトである生産から加工、流通・ビジネスにわたる6次産業化を推進され「生物産業」の具現化に尽力されました。19年には、大学発ベンチャーとなる株式会社東京農大バィオインダストリー代表取締役就任。翌年、産官学連携による「あばしり元氣

再生プロジェクト推進協議会」を立ち上げ、同地域でエミュー産業という新産業の創出と育成に多大な貢献をされました。

26年から東京農業大学副学長、27年からは学校法人東京農業大学理事など大学の運営に関わる要職を務められました。

中川 純一 教授

昭和50年慶應義塾大学工学部応用化学科卒業。58年東京大学大学院農学研究科農芸化学専攻博士後期課程修了。59年からスイスに移られ、フリードリヒ・ミッシャー研究所、チューリヒ工科大学細胞生物学研究所、スイス連邦がん研究所で博士研究員・リサーチアソシエイトを務められた後に、平成2年からバールザル大学医学部助手、7年同大学医学部助教教授を歴任されました。約16年の海外生活の後に日本に戻られ、大正製薬(株)医薬研究所標的分子研究室グループマネージャー、同社医薬事業企画部参事などを務められました。この間には東京農業大学応用生物科学部バイオサイエンス学科客員教授を併任されました。

その後、19年10月から東京農業大学生物産業学部食品科学科（現・食香粧化学科）教授に着任され、退官されるまで勤め上げられました。この間には、大学院生物産業学研究科委員長という要職を24年度から27年度までの4年間務められ、学部生だけでなく、大学院生の教育に尽力されました。また、活躍著しい農友会スキー部の顧問を務め

られた他、生物産業学部の国際化についても多大なる貢献をされました。

研究面では多彩な業績を残されていますが、食品香粧学科では、これまで全く知られていなかった乳酸菌の脱アセチル化酵素であるサーチュインの機能について深く研究され、優れた業績を残されています。また、微生物代謝と香気物質の形成に注目され、酵母がワインを発酵する際に形成される香気物質について、遺伝子レベルでの詳細な研究を行われました。

安藤 達彦 教授

昭和52年学習院大学理学部化学科卒業。54年学習院大学大学院自然科学研究科化学専攻修士課程修了（理学修士）。同年東京農業大学農学部教養課程化学研究室に副手（無給）として着任。その後、農学部総合研究所副手（無給）を経て、57年神奈川歯科大学助手（生化学）。平成元年薬学博士（東京薬科大学）を取得し、同年東京農業大学短期大学部教養課程講師。6年同助教教授に昇格し、学部・学科改組に伴って短期大学部醸造学科へ異動となり、13年同教授。15年同学科長（合計3期6年）、20年コンピュータセンター長（合計2期4年）、26年短期大学部部長（合計2期4年）の要職をお勤めになりました。

ラクロス同好会（現・農友会ラクロス部）男子関東リーグ2部、女子同1部で活躍中）顧問としての学生指導にも熱心であり、教育・研究（専門分野…食品

中の微量金属元素分析であり、微量金属定量による食品素材の産地判別法を確立）だけではなく、多方面にわたる東京農大の発展に多大な貢献をされました。

また、学外では日本健康医学会常任理事、公益財団法人長尾自然環境財団監事、あるいは公益財団法人大学基準協会委員などを歴任されており、定年後もさまざまな分野でますますご活躍が期待されます。

三藤 久夫 准教授

昭和53年3月、東京農業大学大学院農学研究科博士前期課程を修了。平成10年8月に博士（農業経済学）の学位を取得。56年4月から58年9月まで東京農業大学農学部農業殖産学科有給副手。同年10月から平成10年3月まで同学科、後に名称変更して国際農業開発学科講師。同年4月から東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科准教授。

ラテンアメリカ、東南アジア諸国の小農家の経営経済を対象とした教育・研究を展開されました。教育活動では、研究室のゼミナールで農家実習を行い新潟県十日町、ブラジルでの農業実習を通じて、実際の農業と研究の重要性を指導されました。特に南米ブラジル、パラグアイ、アルゼンチンの校友と現役学生との交流の橋渡し役として長年活動され、現在に続く南米の校友との固い絆の構築にご尽力されました。学内の活動では農友会海外移住研究部の部長を務められました。

連携交流会で事例紹介

東京農大は平成29年12月8日、第1回地域連携交流会を世田谷キャンパス内で開いた。全国の市町村、JAなど関係者45人が出席した。

長野県長和町での連携活動の一環である「山村再生プロジェクト」について担当教員と参加した学生が発表した。また全国農協観光協会は、都市と農村の交流事例を紹介した。



活発な意見交換がされた交流会

地域振興へ現場とがっちり連携

力合わせ 協定締結

埼玉県「ちちぶ定住自立圏」と包括連携協定締結

東京農大は平成29年11月17日、埼玉県のちちぶ定住自立圏（秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町）と包括連携協定を締結した。

協定の活動内容は①地域産業資源を活用した6次産業化と人材育成②環境保全・地域づくり③教育・研究・文化振興④就農・就職支援などが主な柱。

今後、大学の課外授業や研究、秩父地域でのインターンシップや就農・就職支援、秩父エリアの豊富な観光資源を生かした地域活性化への支援、ちちぶブランドなどの商品開発、鳥獣害対策の協力などを行う。

地域連携推進 研究部会が発足

記念してシンポ

地域連携の方策の可能性を上げようと、東京農業大学総合研究所研究会に新たに「地域連携推進研究部会」が発足した。

同部会は地域の諸団体との連携を強め、多面的な活動を提案し推進するため、地域振興と地域連携を強化する活動支援、その在り方を抱える課題や改善点などを

議題とし、活発な意見が交わされた。親睦会には連携つは、90人以上参加した。

長野県木祖村と 包括連携協定締結

文化の発展④就農および就職支援に関すること。

今後、草草、七島蘭（しちとうい）の栽培環境・生産体制整備、学生によるインターンシップなどでの地域づくり、杵築ブランド構築のための商品開発、世界農業遺産認定地域での農村景観づくり、景観調査およびワークショップなどの連携を図っていく。

島根県邑南町と 包括連携協定締結

締結式は世田谷キャンパス・アカデミアセンターで行われ、杵築市から永松悟市長、松成茂農林課長らが、東京農大から高野克己学長、宮林茂幸地域創成科学科教授らが出席した。

今後、学生による調査・合宿・研修・インターンシップなどでの実習、村の特産物を利用した魅力ある食品加工等の研究、女性の農林業分野への進出、中山間地



連携協定を締結した本学と大分県杵築市



長野県木祖村と連携協定を締結した本学

協定の活動内容は①まちづくりおよび人づくり②自然、環境、産業および地域振興③教育・研究・文化の発展④就農および就職支援などが主な柱。



連携協定を締結した本学と新潟県魚沼市

今後、地域ブランドづくりの連携を進める。また、食と農をテーマにした学生のワーキングホリデーや薬草・薬木の栽培などの調査研究を推進する。



連携協定を締結した本学と佐賀県みやき町

での食料・環境問題の解決に貢献することを目的としている。



連携協定を締結した本学と長野県

今後、過疎化の進む限界集落での活性化事業、中山間地域での農業持続への共同事業および学生によるインターンシップなどで地域づくりの推進に向け連携を図る。また、地域産業の振興として新たなブランド作りや魚沼ブランドの強

啓雇用・就業支援担当部長らから末安伸之町長、田中俊彦副議長らが、東京農業大学からは高野克己学長、立岩壽一エクステンションセンター長らが出席して協定書を取り交わした。

新潟県魚沼市と 包括連携協定締結

東京農大は2月14日、新潟県魚沼市と包括連携協定を締結した。

協定の活動内容は①地域産業の振興②地域資源を活かした農林業産業化など③人材の相互育成・教育④就職及び就農支援による人材育成などが主な柱。

今後、過疎化の進む限界集落での活性化事業、中山間地域での農業持続への共同事業および学生によるインターンシップなどで地域づくりの推進に向け連携を図る。また、地域産業の振興として新たなブランド作りや魚沼ブランドの強

これまでもこれまでの活動を継続していくとともに、国の登録文化財でもある天吹酒蔵や伝統工芸（白石焼）など伝統産業と観光振興などにも取り組む。

農業総合研究所は「Passion for Agriculture」農業に情熱をく」を掲げ、クリエイティブに農産物流通を創造し続けている。基幹事業の「農家の直売所事業」は、生産者とスーパーマーケットを直接つなぐ、新しい農産物ダイレクトプラットフォーム。全国7300人の生産者と提携し、全国72拠点から都心を中心としたスーパーマーケット100店舗へ、毎日新鮮な農産物が届く仕組みを構築している。



連携協定を締結した本学と島根県邑南町

長野県と 包括連携協定締結

東京農大は、長野県と包括連携協定を締結した。

本協定の活動内容は①農林業をはじめとする産業人材の育成、交流に関する事項②長野県への就農・就業などの支援に関する事項③醸造・バイオ技術をはじめとする食品製造業の振興

佐賀県みやき町と包括連携協定締結

東京農大は2月22日、佐賀県みやき町と包括連携協定を締結した。

本協定の活動内容は①地域づくりに関する事項②地域産業の復興に関する事項③人材の相互育成・協力に関する事項④就農および就職支援に関する事項⑤芸術・文化・歴史の保全・復興に関する事項⑥環境保全・生物多様性の向上に関する事項⑦生涯活躍のまちづくりに関する事項など。

東京農大は3月13日、株式会社農業総合研究所（及川智正代表取締役社長）と包括連携協定を締結した。

協定は、農業および関連産業の活性化に貢献する活動を展開するとともに、農業開発への支援を通じて国際協力活動を展開することにより、地球的規模



連携協定を締結した本学と(株)農業総研

地域にしっかり根付いた収穫祭

Campus now

世田谷キャンパス

善意のダイコン配布



ダイコンのチャリティー配布

農友会各部・同好会・各学科統一本部が、日頃の研究内容・活動内容を発表する場である文化芸術展も行われた。他にも、ユリノキ広場に設置した屋外ステージではさまざまな団体がパフォーマンスを行い、幅広い年齢層の来場者が見て、楽しめる内容だった。

恒例イベントと

世田谷キャンパスでは、平成29年11月2日から11月6日の5日間にわたり、創立126年東京農業大学収穫祭が開催された。テーマは「農の進化、ともに挑もう未来に向けて」。今年度は天候にも恵まれ、そして本祭1日目が祝日であったこともあり、約10万人もの来場者を迎え、例年以上の盛り上がりを見せた。

29年度も、

毎年人気であるミツバチ研究会のハチミツ販売や醸造両科統一本部のみそ販売はもちろん、たくさんの模擬店・即売店が出店した。また、1号館では各研究室・



大盛況の模擬店・即売店

厚木キャンパス

農学部の特色生かして

厚木キャンパス（農学部）の第18回収穫祭が平成29年11月4、5日の2日間、開催された。好天にも恵まれ、2日間で合計2万3175人が来場した。厚木市近隣住民をはじめ神奈川県全域、県外からも多くの人が訪れ、例年以上のにぎわいだった。

講義棟内で行われた

文化芸術展では、各研究室・農友会各部・同好会が農学部の特色を生かした展示を行い、年配者から子どもまで、真剣に見入っていた。模擬店には約50団体が出展し、多くの店で行列ができた。

昨年度に引き続き、

バスロータリー下の畑では、学生が主体となり活動したプロジェクトチームがダイコン4000本を栽培し、来場者が「ダイコン収穫体験」をした。隣の畑では毎年恒例の「親子限定サツマイモ



ダイコンやサツマイモの収穫体験

「厚木に根づく農の魂」とあるように、「厚木に農学部あり」と皆さま方から親しまれるようになったことがうかがえる。

校友の皆さんも、ぜひ厚木キャンパスの収穫祭に足をお運びいただきたい。



近隣住民らが楽しみにしている収穫祭

北海道オホーツクキャンパス

元気いっぱい体育祭



地域のよさこいグループと一体となつての演舞

よる文化芸術展をはじめ、模擬店やサケのつかみ取り、閉会式後の音楽と合わせた打ち上げ花火によるフィナーレなど大いに盛り上がった。さらに、今年度も地域の各団体にもご協力をい

北海道オホーツクキャンパスの第29回目のオホーツク収穫祭が平成29年10月7～9日の3日間で開催された。

それに先立ち、体育祭が9月16日に行われた。北海道オホーツクキャンパスでの体育祭は、これまで雨などによる天候の影響を受け中止や競技の短縮などがあり予定通りの開催とはなら

なかったが、今年度はい

くぶん寒さを感じたものの全競技を実施することができた。学科別対抗競技は大いに盛り上がり、早い秋を感じながらも農大生の元気の良さが発揮された体育祭だった。総合優勝学科は地域産業経営学科の連覇であった。

収穫祭は、統一テーマを「芽吹（めぶき）」とし学内外団体などに



大勢の市民の方にも参加いただいた「もちまき」

食と農の博物館だより



企画展示

「北海道オホーツク」展
北海道の未来を「農」の力で切り拓く

オホーツクや網走といった名前を聞くこと、世界自然遺産「知床」を間近にした一大観光地のイメージが思い浮かぶ。しかし、日本屈指の大規模な畑作地や畜産が営まれている地域でもある。

そのような地域に「農」の力でさらなる地域の活性化を目指し生物産業学部を開設して、早くも30年を迎えた。くしくも北海道命名150周年と重なった。

生物産業学部では大きな記念の節目を迎えた北海道の後援を得て、企画展示「北海道オホーツク」展―北海道の未来を「農」の力で切り拓く―を「食と農」の博物館において開催している。

「北海道オホーツク」展―北海道の未来を「農」の力で切り拓く―を「食と農」の博物館において開催している。

る、その家畜化について探る。
○会期：10月26日（金）
～平成31年3月10日（日）

その他の催事

「サクラソウ」展
マスタセンセイからの贈り物
○会期：4月下旬～5月上旬

「卒業生の蔵元紹介コーナー」会員蔵元の試飲フェア
○日時：6月17日（日）
午後1～4時

「農の生け花」展

3年ごとに「農の生け花」愛好者全国の集い実行委員会の主催で開催。農作物や野山の草花を素材にして、農具や民具を器に生ける。農家を支える女性たちならではの感性が光る生け花。創始者は故・横井友枝さん。
○日時：10月13日（土）
14日（日）

阿部雄介写真展

まさしく直近の調査で撮影したボルネオ熱帯雨林の生態系に焦点を当てた写真展になる予定。
○会期：8月25日（土）
～10月8日（月）

ブタになったイノシシ―家畜化された仲間たち―
平成31年の亥（い）年を迎えるにあたって、最も身近な食肉資源の一つである豚を取り上げる。
イノシシが豚にな



「農の生け花」の作品（日本農業新聞提供）

※その他にもさまざまなイベントを企画しています。博物館ホームページでご確認ください。

津波被災地の農業法人の経営戦略

東日本支援プロジェクトの調査研究成果

東日本支援プロジェクトリーダー・国際バイオビジネス学科教授 渋谷往男

7年目の活動報告会

東京農大東日本支援プロジェクトは、福島県相馬市を中心に被災地の農業復興を支援してきた。復興のステージは変化しているが、被災地ではまだまだ支援が必要とされている。本学では毎年度末に地元で活動報告会を開催している。

平成29年度は南相馬市で森林関係、相馬市で農業関係の報告会を実施した。相馬市の報告会は3月3日（土）に市内の観光案内施設「千客万来館」で開催し



相馬市で開いた農業関係の報告会

た。年度末にもかかわらず、地元の農業者を中心に来場者は66人に達した。主催者である東京農大からは高野克己学長以下、プロジェクトに関わった教員たちが参加した。相馬市からは来賓として立谷秀清相馬市長、

山田秀晴JAふくしま未来理事においていただいた。相馬市からの支援スタッフも含めると100人近い参加者という盛会なものとなった。

報告会では6報告が行われた。第一報告は畜産学科の信岡誠治教授による「牧草地における除染後の草地管理と飼料給与について」、

第二報告は森林総合科学科の山崎晃司教授による「阿武隈山地のクマはごから来てどのくらいいるのだろうか」、第三報告は国際農業開発学科の足達太郎教

津波被災地の復興状況と今後の成長戦略

東日本大震災の津波では全体で561平方キロが浸水した。これは東京23区の面

積の9割に達する。特に、相馬市を含む福島県、宮城県沿岸は広大な農地が津波被害に遭った。今日では放射能被害が大きかった地域以外の農地はほぼ復旧されている。

しかし、多くの農家は小規模な農業経営よりも生活再建を優先させざるを得なかった。結果として農業の担い手は家族経営から農業法人や集落営農などの組織経営に変化した。経営規模も数十畝から100畝を超える大規模水田経営となっている。図に相馬市の津波被災地で組織された代表的な農業法人である合同会社飯豊ファームの年度ごとの経営面積の推移を示す。農地の復旧で面積の拡大は落ち着いているように見える

が、家族経営で営農を再開した農家の高齢化が進んでおり、将来的には100畝を優に超す経営規模になることが見込まれている。

震災後に作られた組織経営は、整備され、連担した大規模農地と復興交付金などで導入された大型農機によって経営が再開されたという共通点がある。しかし、

近い将来大型農機の更新費用の負担と高齢化による組織経営の担い手の引退が見込まれる。津波被災地の農業の永続には、経営能力のある若手後継者が必要であり、そのためには、農地と農業機械の好条件を活用しつつ収益性を高めていくことが求められる。

そこで、筆者は報告会で、津波被災地の農業法人の経営戦略として、多角化を提案した。具体的には業務用米への対応と大豆の6次産業化である。

通常農家が生産するのは主食用米で、最終的な利用先によって家庭用米と業務用米に分けられる。家庭用米はいわゆる銘柄米が中心

になる。一方、業務用米は用途によって必要な特性があるものの基本的な低価格が求められる。現在では米消費の3割が業務用米とされており、業務用米の需要が高いため、一部銘柄米が業務用に回っている実態がある。

そこで、生産者としては当初から業務用米に取り組む戦略がある。萌えみのり、えみのあき、みつひかりなどは業務用米に適した品種として注目されている。これらはコシヒカリよりも2〜3俵（10kg当たり、1俵60kg）収量が多く、作期も地域の銘柄米と異なる品種を選択できる。こうした品種を組み合わせるとともに、あらかじめ需要者との契約で生産する形態が生まれている。こうすることで、大規模水田農業では作期分散と安定的な販路確保が可能となり、収入も増大する。特に津波被災地で誕生した大規模な農業法人では有利な経営戦略といえる。

「6次産業化・地産地消法」が公布されて8年がたつ。この法律の導入前後は6次産業化が盛んに礼賛された。しかし、成功は容易ではなく、今では地域の農業振興の関係者は「無理して6次産業化する必要はない」というやや冷めた認識が大半ではないか。とはいえ、農産物の付加価値向上、雇用創出、農閑期の労働力対策、マーケットをにらんだ経営への転換などを考える、6次産業化の重要性

は今も変わっていない。津波被災地では大豆も大規模に生産されている。例えば、飯豊ファームでは29年度に大豆を48畝生産・出荷している。しかし、出荷量とは別に15%程度のくず大豆が発生する。「くず」といっても小粒のものの半分に分かれたものが中心で、自家でみそなどに加工すれば十分に利用できる。しかし、通常の価格での出荷ができないため、くず大豆の活用は課題の一つである。

一般に大豆の加工品は、みそ、納豆、豆腐など多彩であるが、どれも市場が飽和しており、ただ加工しても価格競争に巻き込まれる。そこで、ほとんど市場に出ていない大豆製品として大豆バターを提案した。大豆バターは文字通り大豆の油脂を使ったバターで、ピーナッツバターの大豆版といったところである。基本的にパンに塗って食べる。現在のところ、大豆バターは鹿児島県で製品化されているものがあるが、全国的

には商品展開されていないため、東日本を主な市場としての展開が考えられる。今回提案した、業務用米や大豆バターは、津波被災地の農業について「復興を超えて、むしろ「地域創生」を支援するものといえる。復興が新たなステージに移行することに合わせ、東日本支援プロジェクトもそのステージを変えていかなければならない。

生命の根源となる細胞、生殖細胞の分化機構解明を目指す

生命科学部 バイオサイエンス学科 動物発生工学研究室 教授 尾畑 やよい

研究室紹介 Introduction 34

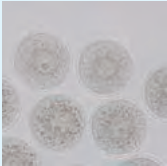
バイオサイエンス学科は、1998年に設立され今年で満20年を迎えた。本学の掲げる実学主義の基礎の部分にフォーカスを絞り、生命現象の原理を追究する学科。本稿では、私の所属する動物発生工学研究室の教育研究活動について紹介する。

生殖細胞の成り立ちを理解する

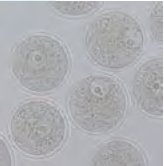
私たちの体を構成する細胞には大きく分けて2種類の細胞が存在する。一つは体細胞で、自身が存続するために必要な細胞。もう一つは生殖細胞で、自身ではなく次の新しい世代を存続させるために必要な細胞だ。生殖細胞には体細胞とは異なる特徴がある。例えば、生殖細胞は減数分裂という細胞分裂を行って染色体の数を半分に減らす。精子と卵子が受精すると染色体数がちょうどもとに戻るように仕組みられている。また、生殖細胞は遺伝子だけではなく遺伝外情報も子に継承する。染色体上には、遺伝子発現の「オン」と「オフ」を決める化学修飾（遺伝外情報）があって、これらは精子や卵子から子へ伝えられる。受精から着床までの間、胚（子）の発生に必要な因子は卵子形成過程で卵母細胞内に蓄えられ、胚（子）に供給される。このような特徴を有する精子や卵子だが、一体どのような仕組みでこの特徴を獲得するのだろうか。生殖細胞形成機構の全容は依然として不明です。私たちは学生と共に生殖細胞の特徴や分化機構を理解しようと研究を進めている。

生殖細胞を体外培養で作る

2016年、私たちは、マウス胎仔（たいい）の未分化生殖細胞から体外培養で卵子を作出することに世界で初めて成功した。この研究成果は、哺乳類の卵子形成機構を解明するツールになることが期待されている。これまで、卵子の分化機構を解明しようとすると、解析のたびにマウス胎仔やマウス個体を開腹し、将来、卵子になる細胞がどこでどのような挙動をとるのか断続的に観察するしかなかった。また、体内で産生されるさまざまな因子のうち卵子の分化にどの因子が必要なのか、それを単離・同定するのは至難の業だった。しかし、体外培養では卵子形成の過程を連続的に顕微鏡下で観察していくことができる。また、あらかじめ組成の明らかな培養液を用いれば、卵子の分化に必要な因子を発見しやすくなる。ただし、私たちの培養系はまだプロトタイプで改善の余地が多分に残されている。一つは培養液にウシ胎子血清を利用している点。血清中には生理活性物質や化学物質など未知因子が無数に含まれているため、卵子形成に必要な因子を同定するためには無血清培養液の開発が求められる。また、体外培養で作られた卵子のうち、受精後、マウス個体まで発生することができた卵子はごくわずかだ。体外培養系を洗練し、かつ、体外培養における不足を理解することで卵子の分化機構を追究していくことが今後の課題だ。



体外培養で作られたマウスの卵子



体内で作られたマウスの卵子

生殖細胞の基礎研究と社会とのつながり

昨今、生殖補助医療技術を介して誕生してくる新生児は少なくない。社会情勢により初産年齢が高齢化していること、加齢に伴い妊娠しにくくなることなどから、生殖補助医療のニーズが高まっている。私たちの研究室からも、毎年、数人の学生が不妊治療のクリニックに就職し、胚培養師としてヒトの体外受精や顕微授精に従事している。このことは、私たちの研究分野の学術的・技術的背景によるところが大きいといえる。学生には生命に対する高い倫理感や生命現象に関する十分な学術的知識を養ってほしいと願っている。一方、私たちの体外培養系を応用すると、マウスでは、ES細胞やiPS細胞からも卵子を作ることができる。克服しなければいけない課題はたくさんあるが、家畜などの有用動物や絶滅が懸念される希少動物の繁殖に貢献する可能性も秘めている。まずは生殖細胞の成り立ちを理解すること、そして次に、生殖細胞の能力を発生工学の力で引き出すこと、その先に社会とのつながりがあると信じて研究・教育を行っている。



平成29年度研究室謝恩会

6次産業化への対応 ～大豆バター～

「6次産業化・地産地消法」が公布されて8年がたつ。この法律の導入前後は6次産業化が盛んに礼賛された。しかし、成功は容易ではなく、今では地域の農業振興の関係者は「無理して6次産業化する必要はない」というやや冷めた認識が大半ではないか。とはいえ、農産物の付加価値向上、雇用創出、農閑期の労働力対策、マーケットをにらんだ経営への転換などを考える、6次産業化の重要性



大豆の油脂を使った大豆バター

には商品展開されていないため、東日本を主な市場としての展開が考えられる。今回提案した、業務用米や大豆バターは、津波被災地の農業について「復興を超えて、むしろ「地域創生」を支援するものといえる。復興が新たなステージに移行することに合わせ、東日本支援プロジェクトもそのステージを変えていかなければならない。

平成30年度 教育後援会地方懇談会開催日程

全国24会場：7月21日(土)、22日(日)

開催地	会場	開催日
北海道	札幌市	札幌すみれホテル
岩手県	盛岡市	ホテルニューカリーナ
青森県	八戸市	八戸グランドホテル
宮城県	仙台市	ホテルメルパルク仙台
福島県	福島市	ホテル辰巳屋
新潟県	新潟市	ANAクラウンプラザホテル新潟
長野県	塩尻市	ホテル中村屋
山梨県	甲府市	ホテル談露館
愛知県	名古屋市	名鉄グランドホテル
静岡県	伊豆の国市	ホテルサンパレー富士見
静岡県	静岡市	ホテルアソシア静岡
京都府	京都市	メルパルク京都
滋賀県	京都市	メルパルク京都
奈良県	奈良市	ホテルアジュール奈良
岐阜県	岐阜市	岐阜キャッスルイン
石川県	金沢市	金沢ニューグランドホテル
鳥取県	倉吉市	倉吉シティホテル
島根県	松江市	松江ニューアーバンホテル
広島県	広島市	広島グランドインテリジェントホテル
徳島県	徳島市	徳島グランヴィリオホテル
香川県	高松市	JRホテルクレメント高松
熊本県	熊本市	アークホテル熊本城前
佐賀県	佐賀市	ホテルニューオータニ佐賀
大分県	大分市	大分センチュリーホテル
宮崎県	宮崎市	宮崎観光ホテル

当日スケジュール	10:00～	受け付け
	10:30～	教育後援会全体会 (大学の近況報告、就職状況等)
	11:55～	保護者・校友会・教職員との懇親会 (昼食)
	13:00～	個別相談会 (15:30 まで)

※上記については、今後変更する場合がありますのでご了承ください。
※詳細は、5月中旬以降、開催府県にお住まいの保護者の皆様へご送付します。

懇談会は大学と保護者らが連携して学生への教育を効果的に行うことを目的に開催しています。

<お問い合わせ>東京農業大学学長室 TEL：03-5477-2202

今年の収穫祭(本祭)開催予定

世田谷キャンパス	11月2日(金)～ 4日(日)
厚木キャンパス	11月3日(祝)～ 4日(日)
オホーツクキャンパス	10月7日(日)～ 8日(祝)

農業を夢見て入学した東京農業大。卒業後、その夢の先にあったのは、やりがいたっぷりのイチゴ生産だった。静岡県御前崎市の栗本めぐみさん。独自の経営とリーダーとしての資質が評価され、平成29年に「東京農業大経営者大賞」を受賞した。今は後輩育成に新たな夢をはせている。栗本さんに寄稿いただいた。

KURI BERRYFARM 代表 栗本 めぐみさん

平成14年 国際食料情報学部 生物企業情報学科卒

夢を耕して 独創的なイチゴ経営

高校時代から思い描いた「農業をやりたい」という夢をかなえるため農大へ。しかし在学中に行ったアルゼンチンの花卉(かき)農家や長野県の果樹農

画力、マネジメント力を身に着けた。

充実した社会経験を積み「いよいよ農業をやる時が来た」と決心。1年間の研修後2009年に就農し、

イチゴ栽培を始めました。固定観念にとらわれず、企業の経営感覚を持ち、ワークライフバランスのとれた働き方を実現。「人にとって良い環境はイチゴに

とって良い環境」という考えの下、雇用環境、福利厚生

の充実に努めています。販売では都内スーパーや和洋菓子店などと取引する他、生チョコレート専

門店と連携してオリジナル生チョコを全国販売するなど、幅広い販売パートナーと持続的な関係を築いています。

4年目には栽培規模を1.5倍に拡大し雇用をスタート。同年、農林水産大臣賞を受賞しました。

「農業はやりがいと幸福を感じる事ができる仕事」9年目の今、素直にそう言うことができます。

17年からは農林水産省の食料・農業・農村政策審議会委員としても活動、会議に参加するたびに、自分の知識の浅さ、人間としての未熟さを思い知らされ、勉強というか修行という

そんな時、大学の恩師から掛けられた言葉を思い出します。「いつもクリは自ら大変な方の道を選んで行くね」「農業をやる」その決断を伝えに行った時に掛けられた言葉です。あれから10年余り……。

「大変な方の道」と言われた道のりは、悩むこともあったけれど、耕しがいのある、そして楽しく彩りある道だったと思います。農

大の理念「人物を畑に還す」の下で学び、私は畑に還していただいた人間、だから今度は私が「畑から人物を育む」。そんな思いから今年1月から農業を志している人の雇用をスタートさせました。

「夢は耕し続けるもの」私はそう思っています。そして私には共に夢を耕してくれる仲間がいます。感謝を胸にこれからも地道に歩み続けたいと思います。



「夢は耕し続けるもの」私はそう思っています。そして私には共に夢を耕してくれる仲間がいます。感謝を胸にこれからも地道に歩み続けたいと思います。

「夢は耕し続けるもの」私はそう思っています。そして私には共に夢を耕してくれる仲間がいます。感謝を胸にこれからも地道に歩み続けたいと思います。

「夢は耕し続けるもの」私はそう思っています。そして私には共に夢を耕してくれる仲間がいます。感謝を胸にこれからも地道に歩み続けたいと思います。

「夢は耕し続けるもの」私はそう思っています。そして私には共に夢を耕してくれる仲間がいます。感謝を胸にこれからも地道に歩み続けたいと思います。

「夢は耕し続けるもの」私はそう思っています。そして私には共に夢を耕してくれる仲間がいます。感謝を胸にこれからも地道に歩み続けたいと思います。

「夢は耕し続けるもの」私はそう思っています。そして私には共に夢を耕してくれる仲間がいます。感謝を胸にこれからも地道に歩み続けたいと思います。

第2版 山のきもち

—森林業が「ホッとする社会」をつくる—



山本 悟 著
定価：本体 1600 円＋税
A4・並製・口絵カラー

◇好評第2版。林業は将来性がないのか。山村地域を消滅させていいのか。その林業や山村に若者が注目し始めた。理由を探ると山への需要が見えてくる。たおやかに胎動する「木志向」が見えてくる。

食農と環境

No.21



実践総合農学会 編
定価：本体 800 円＋税
A4判・並製・カラー

◇平成29年度実践総合農学会シンポジウムを特集。基調講演は「コメ政策の展望」、シンポジウムのテーマは「日本のコメ政策をどうする」。◇バックナンバーもある。

戦後稲作技術史

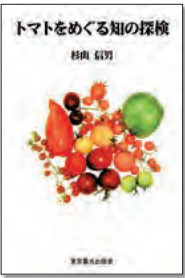
—その技術普及過程・福井県若狭地方の事例—



村上 利夫 著
定価：本体 1800 円＋税
A5判・並製・口絵カラー

◇昭和30年代初め稲作技術は飛躍的に進化した。◇それはなぜか。その問いから出発した普及指導活動の貴重な記録である。◇著者は元福井県小浜市長、元農業改良普及員。

トマトをめぐる 知の探検



杉山 信男 著
定価：本体 2200 円＋税
A5判・並製

◇トマトはなじみ深い野菜だ。健康野菜として関心が高い。多角的視点から情報をまとめている。トマトを通じて農や食の文化を考える、貴重なデータが詰まっている。参考文献は得難い資料。

知られざる東京農大史

—語り継ぐべき農大百二十五年の記録と記憶—



内村 泰 著
大澤貴寿監修・編
定価：本体 3000 円＋税
四六判・並製

◇東京農大図書館所蔵資料による知られざる歴史をひも解く。榎本武揚、横井時敬、文京区麹町、大塚窪町、渋谷常磐松などに深遠な思いが潜む。

わが家は低塩・無添加のお漬物

—プロ技伝授—



大島 貞雄 著
定価：本体 1600 円＋税
B5判変形・並製・口絵カラー

◇本物の漬物をつくるコツが分かる。容器の大きさや重石など家庭で失敗しない漬物作りが学べる。また企業での本格的な漬物づくりの一助となる。長年の研究の実践の成果が学べる。

東京農大の本

申込先

東京農大出版会
〒156-8502 世田谷区桜丘1-1-1
TEL 03-5477-1266
FAX 03-5477-2747

全国教職員部会連絡協議会
は平成29年11月11日、世田谷キャンパス1号館で総会を開いた。研修会や講演会の開催、教職員部会会員名簿のデータ整備を進めるなど、平成29年度事業計画を決めた。

総会には各ブロック支部長、部会関係者ら約30人が参加。28年度の事業報告と決算、29年度事業計画と予算について協議した。開会あいさつした、外園側会長は「人口が減少する中、農大への進学、教職への進路をどうフォローしていくかが課題。協議会会員の経験、地元の人脈を生かし、有意義な活動を進めていきたい」と報告した。

29年度事業計画では①諸会議の開催②教職員データ調査の実施③東京農業大学情報提供④校友会支部教職員部会の開催⑤東京農業

支部部会の現況を報告

全国教職員部会連絡協が総会

い」と呼び掛けた。

教育研究フォーラム

先生の卵に教えるの道示す



新学習指導要領を説明する千々布総括研究官

第20回東京農業大学教育研究フォーラムが平成29年11月11日、世田谷キャンパス横井講堂で開かれ、新学習指導要領に基づく学習指導方法と地域交流による体験学習の成果などについて講演があった。教職員の授

大学教育研究フォーラムの開催――などを決めた。

予算は活動を広げると、前年度より増額した。

東京農大経営者会議役員（役職別、五十音順）				
役職	氏名	卒業年・学科	会社名	所在県
名誉会長	大沢 一彦	S38畜産	日本食研ホールディングス(株)	愛媛県
	佐藤 四郎	S42造園	(株)日比谷アメニス	東京都
	鈴木 吉助	S40林学	東京ボード工業(株)	東京都
	西 太一郎	S35醸造	三和酒類(株)	大分県
相談役	小澤 恒夫	S23専農	小澤酒造(株)	東京都
	田辺 正宜	S47短農	ファームたなべ	熊本県
	松倉 史夫	S39経済	富士食品工業(株)	神奈川県
	新田 恭一郎	S37経済 S39院経	(株)ホテルサンパレー	東京都
会長	新井 健一	S53短農	(株)あらい農産	埼玉県
	大泉 高明	S51化学	(株)大和生物研究所	神奈川県
	諸 広司	S59栄養	(株)ソーキ	東京都
	久保 富雄	S44造園	(株)旅館たにがわ	群馬県
	後藤 義博	S52経済	(有)山二園	静岡県
	東口 義巳	S51農学	(有)とぐちファーム	奈良県
	福原 俊秀	S45農学	(農事)アグリコ	長野県
	三上 光一	S44短農	ミカミストロベリーファーム	栃木県
	柳下 君子	S46短栄	(有)グレース商事	埼玉県
	安田 修康	S41化学	寿食品(株)	神奈川県
監事	大場 淳一	S56造園	(株)大場造園	東京都
	久慈 浩介	H7醸造	(株)南部美人	岩手県
	高橋 睦	S56造園	(株)JGC埼玉	埼玉県
理事	海野 一幸	S43農学	(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ	山梨県
	梶谷 満昭	S49農学	(有)梶谷農園	広島県
	川中 敬三	S49醸造	川中醤油(株)	広島県
	島袋 周仁	S40醸造	(株)久米島の久米仙	沖縄県
	橘 敏雄	S42農学	(株)応用生物	東京都
	玉那覇 美佐子	S46短農	瑞穂酒造(株)	沖縄県
	仲野 益美	S59醸造	出羽桜酒造(株)	山形県
	永原 國夫	S36醸造	キミセ醤油(株)	岡山県
	福田 詮	S49醸造	福田酒造(株)	長崎県
	本田 秀逸	S62農学	(株)サカタのタネ	神奈川県
	本間 惇	S42工学	(株)ベスト	東京都
	村石 愛二	S51経済	鶏卵牧場 (有)村石養鶏場	千葉県
	本 昌康	S50醸造	(株)ぶどうの木	石川県
	吉原 一成	S52短農	栃木県農業士会	栃木県
	事務局長 小野 甲二	S47経済	東京農業大学校友会	東京都

「東京農大経営者の群像 第2巻」の刊行、第16回異業種交流会の実施、地域フォーラム(ブロックでの講演会)の開催などを決めた。

会員増を呼び掛け

経営者 事務局を校友会が担当

東京農大経営者会議は平成29年11月24日、役員会と総会をグリーンアカデミー

ホール(校友会館)で開き、30年度事業計画などを決めた。

後は何ができるようになるかが重要」と説明した。

新たな経営に挑戦する人たちの座右の書として、ご活用いただくと確信して



受賞者らが登壇して参加者から祝福を受けた経営者フォーラム

経営者フォーラム2017

大賞受賞者8人を表彰

経営者賞と経営特別賞も

東京農大経営者フォーラム 2017 受賞者				
大賞	及川 智生	農業総合研究所社長	和歌山市	平9 経
	越智 浩	石鎚酒造専務	愛媛県西条市	平5 醸
	越智 稔	石鎚酒造製造部長	愛媛県西条市	平9 醸
	栗本めぐみ	KURI BERRY FARM代表	静岡県御前崎市	平14 国企
	澄川 宣史	澄川酒造場社長	山口県萩市	平10 醸
	高塚 敏	地域環境計画 代表取締役	東京都世田谷区	平21 院環博
	中村 隆宣	安曇野ファミリー農産 代表取締役	長野県安曇野市	昭57 農
	黛 紀昭	妙義ナバファーム 代表取締役	群馬県安中市	平5 林
経営者賞	浅井信太郎	まるや八丁味噌社長	愛知県岡崎市	昭46 化
経営特別賞	泉保 繁美	税理士法人共同経営センター 代表社員税理士	高松市	昭46 院経修

東京農大は平成29年11月24日、世田谷キャンパス百周年記念講堂で「東京農大経営者フォーラム2017」を開いた。約800人が参加した。東京農大経営者大賞7件8人、東京農大経営者賞と東京農大経営特別賞それぞれ1人の10人を表彰(上表)、高野克己学長が賞状を手渡した。

29年度受賞者の特徴は、平成年代に卒業した40代が多いこと、その経営が幅広い分野にわたること、小規模・家族的経営でもしっかりとした理念を持ち、高い技術力を持った経営者も出

現役学生に期待の言葉

できたことなど。同フォーラムには東京農大校友会、東京農大経営者会議などが後援した。経営者大賞は12年度に創設された。東京農大校友の中から、優れた経営者を褒賞するもの。29年度は校友会から2人、東京農大経営者会議から2人、国際バイオビジネス学科から5件6人の推薦があった。

記念講演では、大賞受賞者が自らの経営内容と特色を披露、現役学生に期待の言葉を贈った。フォーラムの他、現役学生約700人も参加、夢を追った経営者の知恵と努力を学んだ。

人生懸けた挑戦を収録

「経営者の群像」第2巻を編纂

東京農大経営者会議はこのほど「東京農大経営者の群像」第2巻を編纂(へんさん)した。本書のシリーズは東京農大経営者会議の方々の人生を懸けた挑戦を広く社会に発信することを目指している。

第1巻に続き、第2巻には31社33人の経営者の方々の挑戦の軌跡を収録。波瀾(はらん)万丈と呼ぶにふさわしい起業・経営へのチャレンジと素晴らしい人生ドラマ、そして実学に裏付けられた経営哲学・理念と母校東京農大に対する熱い思いがある。

新たな経営に挑戦する人たちの座右の書として、ご活用いただくと確信して



「東京農大経営者の群像」第2巻

発行は東京農業大学校友会、販売は(株)農大常磐松が行う。5000円+消費税送料実費。購入方法は「校友会オリジナルグッズ」11面をご覧ください。

アマゾン公式サイト (https://www.amazon.co.jp) から購入できる。

東京農大経営者フォーラム 2018 11月30日開催

今年の経営者フォーラムは平成30年11月30日(金)13時から、世田谷キャンパスの百周年記念講堂で開催されます。東京農大経営者大賞の表彰式、受賞者による記念講演などが行われます。

卒業生校友各位のご来場をお待ちしています。

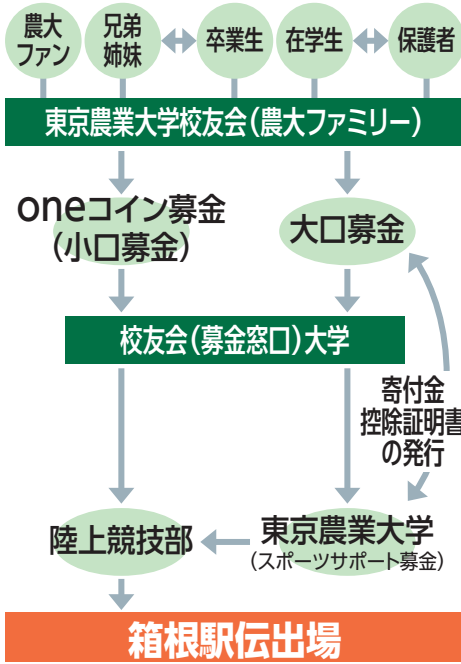
募金の概要

- 1 名 称
箱根駅伝への道 one コイン募金
- 2 募金額
(1)一 口 500 円以上 (複数回)
(2)全体目標 1 億円 (1000 万円 / 年)
(3)支部別目標 1 支部 200 万円 (20 万円 / 年)
(4)募金期間 平成30 年 4 月から10 年間
- 3 募金概念図 一下図参照
- 4 寄付金控除を希望する大口募金者は、大学スポーツサポート募金とする。
- 5 校友会から大学に寄付する場合は、スポーツサポート募金とする。
- 6 募金活動運営費
募金額の 20%以内の額を経費とする。
- 7 募金活動は平成30年4月から開始する。

東京農業大学校友会役員及び支部長は、平成 29 年度全国支部長会議において、上記の募金制度の創設について組織合意し、募金活動を開始することを申し合わせる。

平成 30 年 2 月 23 日
全国支部長会議

箱根駅伝への道 one コイン募金



募金と呼び掛ける大相撲・豊山関と小野事務局長



募金の仕方・集め方

銀行送金で寄付

1 寄付金控除を希望しない場合

- ① ゆうちょ銀行「払込取扱票」にてお振り込みください (校友会ニュース同封)。
- ② 一口 500 円以上 (金額にかかわらず何口でも、何回でも、毎年でも)
- ③ 送金手数料は掛かりません。

2 寄付金控除を希望する場合 (大口寄付)

東京農大スポーツサポート募金 (同封のパンフレット) の三井住友銀行、三菱東京 U F J 銀行、ゆうちょ銀行の「払込取扱票」でお振り込みください。

校友会支部総会などの集会で現金を寄付

- ① 一口 500 円以上 (金額にかかわらず何口でも、何回でも、毎年でも)
- ② 原則として、募金用紙 (写真下) に名前・金額を記入して募金箱 (写真下) に投入してください。
- ③ 領収書は発行しません。
- ④ 校友会支部長 (または幹事長) は、集会ごとの寄付金をゆうちょ銀行「払込取扱票」でお振り込みください (募金箱に投入された募金用紙は本部に郵送してください)。
- ⑤ 払込取扱票通信欄に「(例) ○○支部総会参加者一同」と記載してください。

* 校友会本部への寄付者のご芳名は、原則として校友会ニュースに掲載いたします。
* 箱根駅伝への道 one コイン募金についてのご質問等は校友会本部に問い合わせてください。



東京農業大学校友会は、母校・陸上競技部の箱根駅伝への出場を支援するため、one (ワン) コインをキイチフレーズに「箱根駅伝への道 one コイン募金」を4月からスタート

いたしました。現在、校友は17万人を数え、その校友を取り囲む父母・家族、職場の同僚、農大のファンなど、すべての農大ファミリー (東京農業大学校友) は、陰に陽に、

箱根駅伝への出場を期待・熱望しています。他大学でも箱根駅伝に出場するため、並々ならぬ力を傾注しています。母校が予選会を突破して本戦に出場するために

は、東京農業大学に關係するすべての農大ファミリーが丸となって支援・協力しなければならぬというハートだと考えます。すべての校友・農大ファミリーにご協力をお願いす

るこの「箱根駅伝への道 one コイン募金」は、校友会が主体となって行う募金活動です。校友会は皆さまから寄せられた寄付金を陸上競技部の強化費などに寄贈します。

箱根駅伝への道 one コイン募金にご協力を

●スカーフ



シルク生地100%のスカーフ。コーデのアクセント、頭や首、バッグに巻いたり幅広く使える約72cm×約72cmの大判サイズです。
税込4,000円

●ネクタイB



剣先に農大ロゴのワンポイント入り。松葉緑のヘリンボーンに黄色のストライプでどんなシーンでも使えます。
税込4,000円

●ネクタイA



剣先に鶏のワンポイント入り。若葉のグリーンをストライプにした爽やかな仕上がりです。
税込4,000円

●ネクタイD



剣先に農大ロゴのワンポイント入り。差し色にブルーを打つことで落ち着いた雰囲気仕上がりです。
税込4,000円

●ネクタイC



剣先に鶏のワンポイント入り。織り組織もヘリンボーンとすることで見栄えもしっかりしています。
税込4,000円

農大スポーツの応援にご愛用いただけるよう、品質にこだわったものを取り揃えました。



●スリーシーズン ウィンドブレーカージャケット

農大カラーの松葉緑色のジャンパー。左胸に鶏の農大ワッペン、背中に東京農業大学校友会のロゴ入り。ローマ字で袖肩に名入れをして納品するオーダーメイドです。サイズはL・LL・O。

税別 15,000円

※「ジャケット」「パンツ」のセット価格は税別20,000円



●スリーシーズン ウィンドブレーカーパンツ

やわらかい素材でつくられ、はきやすく動しやすい。サイドに3本のライン。取次店から直送のため送料無料でご提供です。サイズはM・L・LL。

税別5,000円

東京農業大学 校友会 オリジナルグッズ販売

29年12月9日、香川県
◇
香川が研修
会と部会
香川県支部女性部会は
平成29年8月28日、日本食
研愛媛本社（今治市）の食
文化博物館などの見学会を
開いた。家族、友人も含め
15人が参加した。
まず、ベルベデーレ宮
殿をモチーフにした豪華な
KO宮殿でヨーロッパ貴族
の食について学び、焼き肉
のたれなどを調合し容器に
詰めている様子を見学。昼
食後は、創業者であり、東
京農業大学校友の大沢一彦
会長（昭38卒）のご厚意に
より貴賓室も訪問した。
午後からは、世界の食
文化、日本食研の歴史や商
品、ハム・ソーセージの製
造工場を見学し、試食も
行った。

静岡県は
第5回総会
静岡支部女性部会は
平成30年1月21日、静岡市
内で第5回総会を開いた。
21人が参加した。東京農大
の夏秋啓子副学長（国際農
業開発学科教授）による講
演があった。
総会では小林功子女性
部会長（昭36卒）、静岡県
支部の糠谷楨則支部長（昭



支部総会開催一覧表 (平成29年10月～30年3月)						
支部名	開催日	出席者		参加者数	場所	講演など
		校友会	大学			
茨城	10月1日(日)	外園惇副会長	夏秋啓子副学長	90	水戸市	「小さな農家がクールジャパンに選ばれた! 農家の6次産業とITによるブランド化～Only one戦略～」農業生産法人うしおだ代表取締役/潮田武彦氏（平12農）の講演
京都	10月7日(土)	三好吉清会長	食料環境経済学科 竹内重吉准教授	30	京都市	「人口減社会における農村振興」食料環境経済学科/竹内重吉准教授の講演
石川	10月29日(日)	豊原秀和常任理事	バイオサイエンス学科 喜田聡教授	44	金沢市	「日常を豊かにする脳科学一脳と遺伝子、環境、食」バイオサイエンス学科/喜田聡教授の講演
山梨	11月9日(木)	小野甲二常任理事	(欠席)	60	甲府市	—
岩手	11月11日(土)	横澤馨常任理事	造園科学科 高橋新平教授	35	花巻市	—
大阪	11月18日(土)	小泉幸道副会長	小泉幸道名誉教授	40	大阪市	—
福井	11月23日(木)	宮林茂幸常任理事	地域創成科学科 宮林茂幸教授	55	福井市	「福井を元気にするためには」福井県立大学/進士五十八学長（元東京農業大学学長）の講演
静岡	11月25日(土)	小泉幸道副会長	法人本部財務部 手島秀樹部長	150	沼津市	農友会マンドリン部OBによる演奏会
北海道	1月27日(土)	小野甲二常任理事	(欠席)	100	札幌市	—
宮崎	2月24日(土)	小野甲二常任理事	(欠席)	60	宮崎市	—
群馬	2月25日(日)	外園惇副会長	森林総合科学科 江口文陽教授	100	前橋市	「農大経営者大賞を受賞して」(南)妙義ナバファーム代表取締役社長/黛紀昭氏（平5林）の講演

各県支部女性部の活躍

平成29年度 支部女性部会開催一覧

支部	開催日	備考
群馬	平成 29.8.4	
埼玉	平成 29.6.10	設立準備会
東京	平成 29.4.22	
神奈川	平成 29.11.23	設立準備会
静岡	平成 30.1.21	
兵庫	平成 30.3.3	
香川	平成 29.8.28	研修会
	平成 29.12.9	総会
福岡	平成 29.8.26	
宮崎	平成 30.2.18	

小豆島町内で同女性部会を開いた。家族らも含め7人が参加した。校友の農園で温州ミカン、原紅早生、フンタン、ポンカン、鬼ゆず、レモンの収穫やヤマロク醤油（しょうゆ）を見学した。小豆島オリブ園では、高台のレストランで青い海を見ながら小豆島の食材をふんだんに使った料理を堪能した。オリブ油の調合も体験した。

夏秋副学長は「いろいろなから安心です。多様性から考える安全とは？」と題し講演。参加者は興味深く聞き入っていた。昼食をしながらの懇談会で、参加者は自己紹介や夏秋副学長への質問など、楽しいひと時を過ごした。小学6年の男児もお母さんと一緒に参加していた。

最後に富田まゆみさん（昭60栄誉）のリードで学歌を斉唱した。次回は東部地区で開催する。



教職員部会員25人が参加した総会

教職員部会開催 推薦入試説明

平成29年7月29日、校友会栃木県支部教職員部会を宇都宮市内で開いた。教職員部会員25人と、校友会栃木県支部の鈴木崇之支部長（昭50農）、宇賀神正章

平成29年度 支部教職員部会開催一覧			
支部	開催日	支部	開催日
北海道	平成 30.1.11	静岡	平成 29.11.25
青森	平成 29.8.26	三重	平成 30.3.24
宮城	平成 29.11.18	鳥取	平成 29.6.11
秋田	平成 30.1.13	島根	平成 29.8.19
福島	平成 29.11.11	岡山	平成 30.3.24
茨城	平成 29.9.2.3	広島	平成 29.8.27
栃木	平成 29.7.29	香川	平成 30.2.17
群馬	平成 29.9.2	愛媛	平成 30.3.10
千葉	平成 29.7.1	福岡	平成 29.10.28
東京	平成 29.9.10	佐賀	平成 30.3.16
神奈川	平成 30.3.23	熊本	平成 29.12.9
長野	平成 30.2.3	大分	平成 29.9.2
新潟	平成 29.6.24	鹿児島	平成 29.8.26
岐阜	平成 29.8.26	27 都道県で開催	

幹事長（昭52農）が出席。野島忠夫支部会長（宇都宮白楊高校、昭57工）と鈴山北桜高校、平6院化修）が行った。

神奈川県支部では、平成29年11月23日、女性部会設立準備の打ち合わせ会を開いた。家事、育児、仕事などで忙しい中、海老名市、逗子市、横浜市の女性会員3人と加藤恒雄支部長（昭47畜）、松居靖雄副支部長（昭43院化修）、清水圭一幹事長（昭46造）の計6人が出席した。

木支部長のあいさつの後、宇賀神幹事長が地域後継者推薦入試について説明し、地域後継者にふさわしい人材の推薦を依頼した。

神奈川県支部では、平成29年11月23日、女性部会設立準備の打ち合わせ会を開いた。家事、育児、仕事などで忙しい中、海老名市、逗子市、横浜市の女性会員3人と加藤恒雄支部長（昭47畜）、松居靖雄副支部長（昭43院化修）、清水圭一幹事長（昭46造）の計6人が出席した。

書籍も発売中

東京農大 経営者の群像 第1巻
(平成29年11月発行)

東京農大 経営者の群像 第2巻
(平成30年4月発行)

第1巻に続く第2巻がこの4月に刊行。第2巻では31社33名の企業経営者を収録。失敗を糧にしてあきらめことなくイノベーションに挑戦する数々の生き様がここに。
定価5,000円+税

農大卒の企業経営者をまとめた経営人物伝。32社36名を収録。農大時代の思い出、経営者としてのチャレンジ、成功に導いたノウハウ、経営理念などをまとめている。
定価5,000円+税

「食農の匠」
(東京農大逸品堂シリーズ2)

「醸す人」
(東京農大逸品堂シリーズ1)

農大卒業生の活躍を伝えるシリーズ第2巻は、生産から加工、流通、販売までを行う「6次産業」に従事している人を特集。グローバルな視点で68人の食農の匠を紹介。
定価2,000円+税

農大卒業生の活躍を1冊にまとめるシリーズ。第1巻は日本酒、焼酎、ワイン、醤油、味噌の「醸す人」を網羅。日本各地のOBたちを訪ねたくなること間違いなし。
定価2,000円+税

ネクタイピンC

サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:七宝仕上げ(大根)、メッキ:純銀製ニッケルメッキ。
税込2,000円

ネクタイピンB

サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:梨地仕上げ(農大マーク八角形)、メッキ:ニッケルメッキ。
税込1,000円

ネクタイピンA

サイズ:12mm丸、ノセコ:七宝仕上げ(緑色)、メッキ:金メッキ、裏付属:チェーン付きタイタック式。
税込2,000円

ネクタイピンF

サイズ:50mm×1mm巾、ノセコ:七宝仕上げ(農大マーク丸)、メッキ:ニッケルメッキ、付属:チェーン付きキャップ。
税込1,000円

ネクタイピンE

サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:七宝仕上げ(農大マーク丸)、メッキ:ニッケルメッキ(本体)、金メッキ(ノセコ)。
税込1,000円

ネクタイピンD

サイズ:50mm×4.5mm巾、ノセコ:七宝仕上げ(大根)、メッキ:ニッケルメッキ。
税込1,500円

校友会旗

農友会活動の応援などで使用できるのももちろん、部屋に飾ってもクールな校友会旗。縦約52cm×横約70cmの程よいサイズです。
税込1,500円

スプーンセット

農学部昆虫学研究室長島孝行教授が開発・デザイン。昆虫タマムシのカラフルな発色を応用した構造色のスプーンセット。高級感あふれるオシャレ感が秀逸です。
税込3,000円

名刺ケースA

農大校友には必携。深い緑色が印象的な牛革製の名刺ケース。見開き部分に金箔押しで農大校友会の名入れがある。収納は約50枚、サイズは105mm×70mm。
税込1,200円

名刺ケースB

落ち着いたルーージュ色の牛革製の名刺ケース。見開き部分に金箔押しで農大校友会の名入れがある。収納は約50枚、サイズは105mm×70mm。
税込1,000円

注文方法と商品の
発送について

ご購入希望者は、東京農業大学校友会までお電話ください。
校友会では在庫を確認し、送料を加えた販売価格をご連絡いたします。
株式会社農大常磐松の口座でご入金を確認し、商品を発送いたします。 送金口座 三井住友銀行 経堂支店 青 5096938 口座名義 カノクダイトキワマツ

電話番号: 03-3429-1983



農友会激励懇親会に各部の代表約150人が参加

校友会は1月19日、グリーンアカデミーホール（校友会館）で、「第34回東京農業大学農友会激励懇親会」を開いた。平成29年度の活躍をたたえ、30年度もさらに健闘してもらうため、体育・文化団体の部長や監督、主将らを招待、45団体、約150人が参加した。厚木キャンパスやオホーツクキャンパス硬式野球部の代表も参加した。

あいさつで校友会の三好会長が「農友会の皆さんが、情熱をもって取り組んでいる部活の成果は、皆さんの宝だけでなく、大学発展のための財産。全国の校友を代表して感謝申し上げます。今年も、東京農業大学の名声を高め、社会に広めるような活躍を期待している」と激励した。農友会会長の高野克己学長は「東京農業大学は、勉強と課外活動を両立して頑張る真面目な学生が集まっていると、高い評価を受けている。卒業生は現役学生の活躍に大いに期待している」と述べた。

平成 29 年度 東京農業大学校友会 表彰 団体・個人一覧 (平成 30 年 1 月 19 日)					
表彰部	氏名	学科 学年	大会日	大会名	内容
相撲部	個人 トuppシンサナー	ビジネス4	9月3日	第42回全国学生相撲個人体重別選手権大会／100*。未満級	3位
	個人 志賀 裕人	開発3	9月3日	第42回全国学生相撲個人体重別選手権大会／75*。未満級	準優勝
	個人 富栄 秀喜	森林3	12月3日	第66回全日本相撲選手権大会／優秀選手決勝トーナメントベスト16	出場
陸上競技部男子	個人 金子 鷹	ビジネス3	1月2、3日	第94回東京箱根間往復大学駅伝競走／関東学生連合チーム／7区／出場	特別賞
陸上競技部女子	個人 清水 萌衣乃	醸造3	5月25～28日	第96回関東学生陸上競技対校選手権大会／3000m SC 決勝	優勝
	個人 棟久 由貴	健康2	8月23～27日	第29回ユニバーシアード競技大会／ハーフマラソン／台湾・台北	優勝
	団体		10月29日 12月30日	第35回全日本大学女子駅伝対校選手権大会／仙台・杜の都駅伝／6位 2017全日本大学女子選抜駅伝競走／富士山女子駅伝	出場 準優勝
オホーツク硬式野球部	団体		4月30日～ 6月5日～	平成29年度北海道学生野球連盟1部春季リーグ戦 第66回全日本大学野球選手権大会	優勝 出場
馬術部	個人 吉田 匡慶	ビジネス4	11月25、26日	第89回全日本学生馬術選手権大会	準優勝
	個人 和田 健太郎	ビジネス4	11月2～7日	第60回全日本学生賞典総合馬術競技大会	3位
ホッケー部男子	団体		11月24～26日	2017秋季男子関東学生ホッケーリーグ1部	優勝
ホッケー部女子	団体		11月8～12日	2017秋季女子関東学生ホッケーリーグ1部	準優勝
ボクシング部	個人 中野 幹士	ビジネス4	11月22～26日	第87回全日本ボクシング選手権大会／バンタム級	準優勝
	個人 北浦 龍馬	ビジネス3	11月22～26日	第87回全日本ボクシング選手権大会／フライ級	準優勝
	個人 森坂 嵐	ビジネス3	11月22～26日	第87回全日本ボクシング選手権大会／ライト級	優勝
	個人 齋藤 麗王	ビジネス1	8月13～16日	第7回台北市カップ国際トーナメント／ライト級	優勝
剣道部	団体		10月28日	第65回全日本学生剣道優勝大会／8年連続出場	出場
自動車部	団体		12月9日	平成29年度全日本学生自動車連盟関東支部総合杯／女子団体の部	準優勝
ボディビル・パワーリフティング部	個人 新井 一真	工学4	8月28日～ 9月3日	2017世界ジュニア・サブジュニアパワーリフティング選手権大会／53kg級	4位
	個人 八巻 拓未	経済3	7月30日	第44回全日本学生パワーリフティング選手権大会／83kg級	3位
	個人 大石 航平	化学2	7月30日	第44回全日本学生パワーリフティング選手権大会／74kg級	3位
ラクロス部	個人 関口 紗生	健康3	7月26日	第10回IWGAワールドゲームズ／女子日本代表に選出	出場
講演部	個人 大石 明日香	経済1	12月3日	第51回農林水産大臣杯争奪全日本学生弁論大会	2位
社交ダンス研究部	ペア 佐原 安春 荒 奈瑠美	森林3 栄養3	12月10日	第62回全日本学生競技ダンス選手権大会／ラテンの部／ルンバ	3位
全学応援団チアリーダー部	団体		3月28日	USA School & Nationals 2017 (全国選手権大会)／大学編成 Show Cheer 部門	準優勝

校友会は3月28日、世田谷キャンパス硬式野球部激励会をグリーンアカデミーホールで開いた。野球部員ら約100人が参加し、東都大学野球2部リーグ優勝、1部復帰への決意を固めた。

今年こそ1部復帰 新体制で決意新た 世田谷硬式野球部を激励

野球部の金子忠一新部長（造園科学科教授）は「監督、コーチも新体制でスタートした。校友の皆さまからの期待を力に変えて頑張ろう」と述べ、昨年12月、監督に就任した樋越勉監督は「選手も一生懸命前向きに頑張っている。一勝でも多く勝てるよう、選手と一緒に頑張っていくと心えた。う」と力強く決意表明した。30年度春季2部リーグ戦は4月10日から5月30日まで。試合の日程は東都大学野球連盟のホームページを参照。



野球部員らを激励する校友会・三好会長

三好会長は「東京農大の野球部員は、練習を重ねてきた実績を、ぜひとも積み上げてほしい。一丸となって今年度のスタートを」と激励した。

成績優秀、活躍たたえ

農友会激励懇親会 7団体19人を表彰

向けて力強く決意表明。三好会長、高野学長、体育団文化団体連合会・濱野周泰会長、最後に、全学応援団・安齊勇貴団長（開3）のリーダーで学歌を斉唱した。

東京農業大学校友会支部別実績 (暫定) (円)					
支部	募金件数	募金金額	支部	募金件数	募金金額
北海道	145	7,842,000	鳥 取	22	490,000
青 森	23	770,000	島 根	56	970,000
岩 手	45	2,472,000	岡 山	48	1,903,000
宮 城	55	2,719,500	広 島	139	4,147,000
秋 田	29	1,045,000	山 口	192	3,334,000
山 形	26	1,810,000	徳 島	24	3,350,000
福 島	38	1,800,000	香 川	40	1,310,000
茨 城	82	5,030,000	愛 媛	44	3,070,000
栃 木	111	5,465,000	高 知	64	1,280,000
群 馬	146	7,204,000	福 岡	90	2,812,500
埼 玉	167	8,610,000	佐 賀	78	1,930,000
千 葉	193	9,073,221	長 崎	74	1,649,000
東 京	494	56,448,225	熊 本	65	1,730,200
神奈川県	294	28,573,500	大 分	125	7,500,000
山 梨	55	2,980,000	宮 崎	47	1,245,000
長 野	71	1,931,500	鹿児島	39	3,251,111
新 潟	103	3,638,000	沖 縄	34	1,065,000
富 山	21	835,000	国内計	3,796	211,004,757
石 川	47	1,850,000	台 湾	11	1,722,111
福 井	35	2,385,000	ブラジル	3	10,355,000
岐 阜	33	880,000	パラグアイ	2	400,000
静 岡	170	6,658,000	アメリカ	11	295,357
愛 知	33	1,440,000	ミャンマー	1	35,061
三 重	27	1,230,000	アルゼンチン	2	500,000
滋 賀	16	1,310,000	カナダ	3	505,686
京 都	35	920,000	タ イ	7	900,000
大 阪	18	875,000	インドネシア	1	20,000
兵 庫	56	2,768,000	海外計	41	14,733,215
奈 良	13	495,000	校友関係団体	18	50,227,862
和歌山	34	910,000	合計	3,855	275,965,834

125周年記念募金に感謝

創立125周年記念事業資金募金全体実績 (暫定)
平成25年4月～30年3月末現在

全体募金件数	5,094 件
全体募金金額	441,570,458 円
(うち校友関係)	
47 都道府県支部	211,004,757 円
9 海外支部	14,733,215 円
校友関係団体	50,227,862 円

母校創立125周年を記念して、平成25年から5年間にわたりご協力をお願いしてまいりました「東京農業大学国際センター（仮称）」建設のための事業資金募金は、3月末をもちまして終了いたしました。ご協力を賜りました多くの校友並びに関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。平成30年3月末までの実績（暫定）は上表の通りとなりますので、ご報告申し上げます。国内は47都道府県全ての支部から3796件、海外からは台湾、ブラジル、パラグアイ、アメリカ、ミャンマー、アルゼンチン、カナダ、タイ、インドネシアの9支部41件、校友関係団体から18件の寄付をいただきました。なお、最終実績につきましては、追って大学側からご報告の予定です。

全支部から熱い心届く

話題の図書



『榎本武揚と明治維新』
―旧幕臣の描いた近代化―

黒瀧 秀久 著 岩波ジュニア新書
本体価格886円(税別)

薩摩藩や長州藩など進んだ西国雄藩が、遅れた徳川幕府を倒した。明治維新はそのように評されてきた。しかし、その旧幕府側出身の人材が、明治政府で重要な役割を果たしていた。本書の創設者である榎本武揚先生はその一人である。本書は、榎本武揚先生の生涯を記したものである。

榎本武揚と言えば、箱館戦争における「敗軍の将」としての印象の方が強いが、維新政府では唯一、大臣職を歴任した。その背景にある榎本先生のフロンティアスピリッツ、あらゆる語学と科学に精通し、北海道の開拓や外国との交渉、殖産産業に大きく貢献し、東京農業大学の前身・徳川育英

会育英農科を創出した榎本先生のバイタリティーは、まさに「近代日本の万人」であったといえる。

本書では、その榎本先生の志から、現代の社会問題に立ち向かう際の継承すべき視点として①国際交流②持続的な社会発展③地域資源と「モノづくり」④近代科学を前提にした教育者⑤文理融合の「万人」を掲げている。現代社会はグローバル化の下、激動の21世紀を迎えている。この変化が著しい中で、日本が、さらには日本を取り巻くアジア諸国が、どのような選択をしながら発展すべきなのか。江戸末期から維新を経て、日清・日露の激動の時代を生きた榎本先生の生き方と人生から、歴史的転換点における今日的意義を学び

取る契機に本書がなければ幸いである。2018年は北海道が命名されて150年目(蝦夷共和国150周年)を迎え、東京農業大学は創立127周年を迎える。多

くの校友の方々に一読を勧めたい。
菅原 優(東京農業大学生物産業学部自然資源経営学科准教授)



『石と造園100話』
『続・石と造園100話』

古林 章 著
各巻 本体価格2000円(税別)

「小石川後楽園は徳川光圀が完成させた。円月橋という中国式アーチ橋だけで

庭園施設に朱舜永の影響を受け具現化されている。……」(石と造園100話)
「1973年設計の駅前広場は、園路に曲線を活かしたデザインで、駅舎と共通する煉瓦と切石を用いていた。広場は煉瓦舗装と花崗岩の切石の舗石……。曲線を活かした池、花崗岩のオリジナルベンチがあった。……」この1973年設計広場はすでに無い。時代とともに姿を変えている。(続・石と造園100話)
こういった多彩な内容で興味がそえられる。
上京された機会に小石川後楽園に足を運ばれた。東京駅の広場で一休みはいかがですか。ちなみに小石川後楽園は、東京農大開校の地(JR飯田橋駅東口右折すぐ標柱あり)から歩いて行ける。著者は東京農大名誉教授。
(東京農大出版会刊 電話0354772666)

会員の動静

慶

平成29年秋の叙勲・褒章を次の方々が受賞されました。

旭日小綬章

富山県支部

西村 亮彦氏(昭36林)

黄綬褒章

福井県支部

土井 直紀氏(昭49造)

藍綬褒章

群馬県支部

柳澤 光雄(太刀川)氏(昭43短農)

藍綬褒章

東京都支部

高橋 秀夫氏(昭40工)

当選

次の方々が当選されました。

市町村長

栃木県支部・那珂川町

平成29年10月29日2期目

福島 泰夫氏(昭49拓)

群馬県支部・東吾妻町

平成30年4月15日3期目

中澤 恒喜氏(昭48林)

兵庫県支部

平成29年8月23日

代田 峰雄氏(昭33経)

長野県支部

平成29年10月

針塚 藤重氏(昭32農)

群馬県支部

平成29年11月18日

寺井 俊介氏(昭35化)

神奈川県支部

平成29年11月22日

米田 喜貴雄氏(昭39経)

富山県支部

平成29年11月23日

生越 誠一氏(昭35農)

新潟県支部

平成29年11月27日

前川 昭男氏(昭28化)

東京都支部

平成29年11月30日

松尾 武博(副島氏(昭38経)

佐賀県支部

平成29年12月3日

柳 精一氏(昭31農)

福井県支部

平成29年12月6日

長谷川忠男氏(昭34院化修)

東京都支部

平成29年12月19日

井出 主文氏(昭35経)

東京都支部

平成29年12月19日

広野 長俊氏(昭44経)

富山県支部

平成29年12月30日

茂野 正氏(昭26学経)

新潟県支部

平成29年12月

吉田 理氏(平3工)

新潟県支部

平成29年12月
桑田 安喜氏(昭33経)
広島県支部
平成29年12月
山中 一成氏(昭34醸)
静岡県支部
平成29年12月
泉地 秋雄氏(昭30工)
静岡県支部
平成30年1月2日
片平 晋作(伸作)氏(昭47林)
埼玉県支部
平成29年1月22日
山岸 すみ子(天笠)氏(昭45短米)
群馬県支部
平成30年1月31日
小林 壽明氏(昭18専村経)
群馬県支部
平成30年2月2日
塚本 茂氏(昭63拓)
福岡県支部
平成30年2月3日
松田 邦夫(竹内)氏(昭45畜)
群馬県支部
平成30年2月13日
堀内 久彌氏(昭26専化)
千葉県支部
平成30年2月27日
渡辺 次郎氏(昭43農)
群馬県支部
平成30年3月23日
原田 卓氏(昭39農)
神奈川県支部
平成30年3月25日

※米田喜貴雄氏は平成24年から富山県支部長(現職)。支部のリーダーとして尽力いたっていました。11月23日未明に急逝、75歳でした。

校友会功労者に感謝状贈呈―退任支部長―

感謝状は平成30年度支部総会で伝達する。

京都府支部 奥田 豊氏(昭43経)
支部長 平成15〜29年(通算14年間)

校友会情報

校友会ホームページを「活用」ください

校友会のホームページ(HP)では、最新の校友会本部の会議の予定や内容の他、都道府県各支部の役員、支部別のページを設けていますので、支部総会、教職員部会などの職域分会、

員、支部規程、支部総会の開催予定や内容、年度計画、活動報告など各種情報を掲載しています。

平成30年度通常総会は6月1日(金)、世田谷キャンパスの横井講堂で開かれる。

6月1日に通常総会

29年度事業報告並びに決算報告、30年度事業計画並びに収支予算などを審議する。

住所変更などのご連絡

校友会では卒業生名簿(原簿)の整備を進めてい

HPアドレス 東京農業大学校友会
<http://www.nodai-koyukai.jp/>

ます。勤務先の異動・変更などで多くの会員が住所不明となっています。住所変更や改姓をされた会員は、「東京農業大学校友会のしおり」最終ページのはがき「会員名簿移動連絡票」または校友会HPの「会員名簿変更届」でご連絡願います。FAX・メールの場合、下記をお願いします。

FAX 03-3427-2271
E-mail ko3883@nodai.ac.jp

グリーンアカデミーホール(校友会館)のご利用案内

グリーンアカデミーホール(校友会館)は大学敷地の西端にあり、学生寮に隣接する緑豊かな閑静な場所にあります。会館内には、安価で利用できる休養室(洋室ツ

支部総会・教職員部会などに参加を都道府県支部では毎年



力走する2区佐藤選手(2番手)と声援を送る校友会静岡県支部の皆さん

静岡県支部も声援



名城大を抜き2位でゴールに向かう7区清水選手

第101回日本陸上競技選手権大会クロスカントリー競走が2月24日、福岡市の海の中道海浜公園で開催され、7人の選手が出場。棟久由貴が学生トップとなる4位入賞を果たした。団体(上位3人の合計タイム)では3位。学生トップでゴールした棟久は、4月にスイスで行われる世界大学クロスカントリー選手権大会の代表選手として選出された。

他に清水萌衣乃、佐藤有希、原田紗枝、土田佳奈、小川奈々、保坂野恋花が出場した。校友会福岡県支部が応援に駆け付け、熱い声援を送った。

世界大学クロスカントリー選手権大会2018
4月7日にスイス・ザンクトガレンで開催された世界大学クロスカントリー大会で、2区清水萌衣乃、3区佐藤有希、4区小川奈々、5区原田紗枝、6区保坂野恋花、7区清水選手が出場し、2位の清水選手が、校友会静岡県支部の皆さんから声援を受けた。

ラクロス部
29年度関東学生ラクロス女子1部リーグ戦5位の農大は、2部との入れ替え戦で千葉大と対戦し6-1で勝利、1部残留が決定した。

富士山女子駅伝で準優勝

全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)が平成29年12月30日、静岡県の富士山本宮浅間大社前―富士総合運動公園陸上競技場の7区間43・4キロで実施された。

21チームが参加して行われ、農大はこの大会で過去最高の2位と健闘した。1区の保坂野恋花(醸)が4位と好位置につけ、2区佐藤有希(健3)は区間3位の走りで2位に浮上。3区皆川早紀(健4)と4区原田紗枝(健3)が2位を守りきり、各チームがエースを起用する最長区間の5区で棟久由貴(健2)は3位となるも、トップ立命館大との差を17秒縮めた。6区小川奈々(経2)も順位を下げ4位となったが粘りの走り、7区清水萌衣乃(醸3)につないで清水は、過酷な上りが続く7区を力強い足取りで大東文化大、名城大を抜き去り、2位でゴールした。

校友会静岡県支部(糠谷楨則支部長)が多数応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会福岡県支部(糠谷楨則支部長)が多数応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会福岡県支部(糠谷楨則支部長)が多数応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会福岡県支部(糠谷楨則支部長)が多数応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

陸上競技部女子
強化指定部
日光いろは坂駅伝で総合2位
平成29年11月26日、栃木県日光市で開かれた第4回日光いろは坂駅伝で総合2位、農大Aチームは総合2位、Bチームは総合4位となった。Aチームの3区原田紗枝が区間賞を受賞した。

校友会栃木県支部(鈴木崇之支部長)が応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会栃木県支部(鈴木崇之支部長)が応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会栃木県支部(鈴木崇之支部長)が応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会栃木県支部(鈴木崇之支部長)が応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会栃木県支部(鈴木崇之支部長)が応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会栃木県支部(鈴木崇之支部長)が応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会栃木県支部(鈴木崇之支部長)が応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

校友会栃木県支部(鈴木崇之支部長)が応援に駆け付け、沿道から声援を送った。

農友会活動

- 付け、声援を送った。各チームの出場者は以下の通り。
- | | | | | | |
|------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| Aチーム | 1区 土田佳奈(健2) | 2区 清水萌衣乃(醸3) | 3区 原田紗枝(健3) | 4区 保坂野恋花(醸2) | 5区 小川奈々(経2) |
| Bチーム | 1区 皆川早紀(健4) | 2区 田嶋叶(経4) | 3区 川上楓(開4) | 4区 塩川結(経4) | 5区 坂井希美(健1) |
| 6区 | 平賀奏美(経1) | 小森谷朱音(健4) | | | |

平成29年度農友会表彰式受賞者一覧							
		表彰部		氏名・学科			
農友会功労賞		書道部		住谷 菜月(健康4)			
農友会会長賞	団体の部	社交ダンス研究部					
		管弦楽部					
	個人の部	講演部		石山 美桜子(造園4) 大石 明日香(経済1)			
		社交ダンス研究部ペア		佐原 安春(森林3) 荒 奈瑠美(栄養3)			
		書道部		住谷 菜月(健康4)			
農友会賞	団体の部	茶道部					
	個人の部	社交ダンス研究部ペア		小林 和久(醸造4) 松下 梨花子(栄養4)			
南賞	団体の部	陸上競技部(女子)					
	個人の部	ボクシング部		中野 幹士(ビジネス4)			
農友会功労賞		ボクシング部		中野 幹士(ビジネス4)			
		ボディビル・パワーリフティング部		新井 一真(工学4)			
農友会会長賞	団体の部	陸上競技部(女子)					
		相撲部		ミヅマホリジヤブシナガ(ビジネス4) 志賀 裕人(開発3)			
	個人の部	馬術部		吉田 匡慶(ビジネス4) 和田 健太郎(ビジネス4)			
		陸上競技部		佐藤 有希(健康3) 保坂 野恋花(醸造2) 練久 由貴(健康2) 小川 奈々(経済2)			
		ボクシング部		中野 幹士(ビジネス4) 北浦 龍馬(ビジネス3) 森坂 嵐(ビジネス3) 黒柳 禪(ビジネス1) 齋藤 麗王(ビジネス1)			
		ボディビル・パワーリフティング部		新井 一真(工学4) 八巻 拓末(経済3) 大石 航平(化学2)			
		ラクロス部		関口 紗生(健康3)			
		団体の部	馬術部				
			ホッケー部(男子)				
			ホッケー部(女子)				
			自動車部				
			ボディビル・パワーリフティング部				
			個人の部	相撲部		加藤 聖也(森林1) 清水 萌衣乃(醸造3) 金子 鷹(ビジネス3)	
				陸上競技部		森岡 樹生(醸造2) 土田 佳奈(健康2) 平井 陽大(経済1) 吉田 真依(健康4)	
				自動車部		吉川 瑠美(森林4)	
体操部		中村 風稀(醸造1)					
ボディビル・パワーリフティング部		岡野 太郎(経済2) 寺山 陽葵(生命1)					
農友会新人賞	相撲部			加藤 聖也(森林1) 森岡 樹生(醸造2) 平井 陽大(経済1) 平賀 奏美(経済1)			
	陸上競技部			小菅 悠人(醸造1)			
	山岳部		黒柳 禪(ビジネス1) 齋藤 麗王(ビジネス1)				
	ボクシング部		中村 風稀(醸造1)				
	体操部		寺山 陽葵(生命1)				
	ボディビル・パワーリフティング部		竹下 雅教(醸造2)				
	ラクロス部		林 萌波(栄養2) 是永 陽平(工学2)				
	農友会特別賞		団体の部		全県座頭会千ノノダ部		

世田谷キャンパス硬式野球部
強化指定部

2部3部入れ替え戦、2勝1敗で2部残留が決定

29年東京都大学野球秋季リーグで2部最下位となった農大は、3部優勝の学習院大と入れ替え戦を行い、2勝して2部に残留した。

オホーツク硬式野球部
強化指定部

周東佑京君 福岡ソフトバンクホークスと契約合意

周東佑京（産経4、内野手）が2017プロ野球ドラフト会議（29年10月26日）で福岡ソフトバンクホークスから育成選手として2位指名を受け、11月7日に同球団と契約合意



福岡ソフトバンクと契約合意した周東選手④

陸上競技部男子
強化指定部

第94回東京箱根間往復大学駅伝競走大会（1月2～3日）

農大チームは本線出場を逃したが、予選会で力走した金子鷹（ビジネス3）が関東学生連合チームに選出され7区に出場した。



箱根駅伝・小田原中継所でたすきを受け取り、7区を力走する金子選手



樋越新監督

世田谷・オホーツクに新監督

樋越勉（ひごし・つとむ）

樋越監督は昭和55年農業拓殖学科卒、在学中は硬式野球部に所属。日本学園高校野球部コーチ・監督、世田谷キャンパス硬式野球部コーチを経て、平成2年にオホーツクキャンパス硬式野球部監督に就任。



三垣新監督

野球部強化へ新体制

プロ野球選手は15人輩出した。この間、東京農大では学長室、生物産業学部就職課長、資源研究所事務長、学生サービス課長を歴任。また、北海道学生野球連盟理事長、公益社団法人全日本大学野球連盟常任理事を務めた。29年12月、世田谷キャンパス硬式野球部の監督に就任。

三垣監督はPL学園高校3年の夏、甲子園に出場。準々決勝で大阪大輔を擁する横浜高校と対戦し、伝説の延長17回の死闘を繰り広げた時の6番ファースト。

平成15年東京農大オホーツクキャンパス産業経営学科卒。在学中は硬式野球部に所属。1年次からレギュラーとして活躍し、4年次にはキャプテンを務める。最高殊勲選手賞など数々の賞を受賞、連盟を代表する選手に。

社会人野球では、三菱ふそう川崎時代はチームの中心選手として活躍し、都市対抗野球大会で全国制覇を成し遂げた。三菱自動車岡崎ではコーチも経験。

29年12月に北海道オホーツク硬式野球部の監督に就任。

校友会神奈川支部（加藤恒雄支部長）も応援に駆け付けた。

富士宮駅伝競争 優勝

第68回富士宮駅伝競争大会が2月11日、静岡県富士宮市で行われ、農大から3チームが出場した。

結果と出場選手は以下の通り。

◇Aチーム 優勝

1区Ⅱ工藤颯、2区Ⅱ平井陽大（経1）、3区Ⅱ鈴木開登（ビジネス3）、4区Ⅱ鈴木広親（開3）、

5区Ⅱ今井優作（経2）、6区Ⅱ小山直城（醸3）

◇Bチーム 3位

1区Ⅱ星野元気（ビジネス1）、2区Ⅱ高木才叶（畜2）、3区Ⅱ吉田蒼暉（ビジネス2）、4区Ⅱ瀬戸口凌（経3）、5区Ⅱ安田圭吾（経3）、6区Ⅱ小山日楓（食農1）

◇Cチーム 4位

1区Ⅱ森終斗（経3）、2区Ⅱ堤亮太（ビジネス3）、3区Ⅱ藤原慎（造1）、4区Ⅱ那須野幸佑（経2）、5区Ⅱ村田亨之（経2）、6区Ⅱ櫻井亮也（経1）

第72回香川丸亀国際ハーフマソン（2月4日）

川田裕也、瀬戸口凌、小山直城が出場した。

第40回神奈川ハーフマソン（2月4日）

吉田蒼暉、森終斗、平間大貴（地創1）が出場した。

OBの活躍

東京農大出身の大相撲関取の過去3場所の成績は次の通り。

場 所	正 代	豊 山
	熊本県 / 時津風 (正代直也 平26開)	新潟県 / 時津風 (小柳亮太 平28森)
平成29年11月場所 (九州場所)	前頭七枚目 9勝6敗	十両三枚目 9勝6敗
平成30年1月場所 (初場所)	前頭四枚目 7勝8敗	前頭十四枚目 9勝6敗
平成30年3月場所 (大阪場所)	前頭四枚目 7勝8敗	前頭十一枚目 10勝5敗



馬術部

平成29年度全日本学生馬術大会（11月2～7日、兵庫県三木ホースランドパーク）

第60回全日本学生賞典



準優勝した吉田選手（左端）

ト8。齋藤真（森4）佐藤隆史（工2）山内敬（開3）松原康太（森3）富栄秀喜（森3）が出場した。

第66回全日本相撲選手権大会（12月3日、両国国技館）

アマチュア横綱を決める全日本相撲選手権大会に富栄秀喜が出場、優秀選手決勝トーナメントに進み健闘、ベスト16。

総合馬術競技大会で3位に和田健太郎（ビジネス4）、6位に吉田匡慶（ビジネス4）。

吉田は第60回全日本学生賞典馬術競技大会で6位、第67回全日本学生賞典障害馬術競技大会で8位。

団体では、第60回全日本学生賞典総合馬術競技大会で4位、三種目総合で6位。

第89回全日本学生馬術選手権大会

大会（11月25、26日、福岡県馬術競技場）

吉田匡慶が準優勝、和田健太郎と鶴飼勇希（造2）は9位。

第2回関東学生馬術男子競技大会（12月2、3日 津久井馬術競技場）

馬場馬術競技で4位に鶴飼勇希、障害馬術競技で8位に吉田匡慶、9位に鶴飼勇希。

平成29年度関東学生馬術協会会長杯（12月2、3日 津久井馬術競技場）

馬場馬術競技A2課目で3位に木村雄飛（醸2）、障害馬術競技小障害Aで2位に林大地（経2）ヒーローブラッサム号、4位に林大地・グリーヴァ号。

六会ホースショー2018（日本大学六会馬場）

部班競技A班CRAN E杯で4位に木村雄飛（醸2）ビビアンリスト号。

第55回東部学生馬術競技大会（3月16～18日、東京競技場）

▽団体総合Ⅱ農大3位（10大学出場）

▽新人馬場馬術競技Ⅱ南部七輝（ビジネス1）ヒーローブラッサム号5位、団体4位

▽複合馬術競技Ⅱ鶴飼勇希・ランヘランバ号4位

▽新人障害馬術競技Ⅱ南部七輝・グリーヴァ号3位

▽中障害馬術競技Ⅱ鶴飼勇希・ホーリーブレインチパラ号2位、原田天馬（工3）・スーパースニック号6位

OBの活躍

プロ野球

2017プロ野球ドラフト会議で、谷川昌希投手（平岡県出身で筑陽学園高、東京農大を経て、社会人3年目の25歳。ストレートとスライダーで抑える本格派右腕）。

平成27年から3年連続で都市対抗に出場。29年は侍ジャパン社会人代表にも選ばれ、第28回BFAアジア選手権に出場した。

谷川投手は後列右から2人目、背番号34

この大会には東京農大一中、一高も出場。一中は中学校編成Show Cheerleading―Advance部門で優勝、一高は高校編成の同部門で3位。両校ともベストチアアップ賞を受賞した。

アメリカンフットボール部

29年度関東学生アメリカンフットボール・3部リーグDブロックで農大は全勝、勝ち点15で1位。2部3部入れ替え戦で埼玉大と対戦、18-17で逆転勝利し、30年度は2部リーグに昇格。



農大(緑ヘルメット)は2部3部入れ替え戦で埼玉大に勝利(29年12月16日、富士通スタジアム川崎で)

ホッケー部

2017関東学生ホッケー秋季リーグ
男子1部の決勝戦(11月3日)で、法政大学に1



秋季リーグで準優勝した女子チーム



秋季リーグで優勝した男子チーム

10で勝ち、12年振り10回目の優勝を達成。今大会で主将の青山力也(開4)がMVP賞及びベストイレブン、三原広之(開3)がベストイレブンを受賞した。

男子第66回・女子第39回全日本学生ホッケー選手権大会
11月8〜12日に大阪府・奈良県内で開催され、男子は4位、女子はベスト8と健闘した。

この結果、男子はホッケー日本一のタイトルをかけて争う、第91回全日本男子ホッケー選手権大会に出場。24日に社会人1位の福井クラブと対戦し、S O(シュートアウト)戦までもつれる展開となったが惜敗した。



全日本男子ホッケー選手権大会

女子1部では準決勝で強豪の駿河台大学に2対1で勝利、決勝(11月19日)では山梨学院大学に敗れたものの準優勝に輝いた。



ボクシング部

全日本ボクシング選手権大会
森坂3連覇
第87回全日本ボクシング選手権大会(11月22〜26日)に9人の学生と卒業生OB1人が出場した。リオ五輪に出場したライト級の森坂嵐(ビジネス3)が大

バンコクで開催される第3回ユースオリンピック競技大会アジア予選のU18女子日本代表13人の中に農大の村上冨来(食農1)がFWとして選ばれた。

健闘を期待して校友会が激励した。



校友会の小野常任理事・事務局長(右から2人目)から激励を受けた村上選手(中央)

会3連覇を達成した。フライ級の北浦龍馬(ビジネス3)とバンタム級の中野幹士(ビジネス4)は決勝で惜しくも敗れ準優勝、ライト級の齋藤麗王(ビジネス1)は3位。森坂は優秀選手賞に輝いた。

ライトウェルター級に出場した卒業生の成松大介(平24経、自衛隊体育学校)は大会7度目の優勝を果たした。

その他の成績はライトフライ級5位田中利知(経1)、ウェルター級5位黒柳禅(ビジネス1)、ミドル級5位押川幸輝(ビジネス3)。



左から齋藤、森坂、北浦、中野選手

文化団体

社交ダンス研究部

東部日本学生競技ダンス選手権大会1部戦
11月12日に獨協大学(草加市)で開かれ、ラテンの部で、小林和久(醸4)・松下梨花子(栄4)組がチャ



全日本でルンバ3位入賞した佐原・荒組

チャチャで優勝、サンバで3位に入賞。フォーメーションで3位。

第62回全日本学生競技ダンス選手権大会
12月10日に獨協大学で開かれ、ラテンの部で佐原安春(森3)・荒奈瑠美(栄3)がルンバで3位入賞を果たした。小林和久・松下梨花子(栄4)組がチャ



フォーメーションは全日本で3位入賞

講演部

農林水産大臣杯争奪全日本学生弁論大会
農友会講演部は12月3日、百周年記念講堂で「第51回農林水産大臣杯争奪全日本学生弁論大会」を開いた。「学生が論じる農林水産業の未来」をテーマに、7大学9人の弁士が競い、

第96回理工科系大学学生競技ダンス選手権大会
12月3日に電気通信大学(調布市)で開かれ、ジュニアモダン部の鈴木凌(開1)・片桐愛(ビジネス1)組がクイックステップで2位。

全学応援団吹奏楽部

定期演奏会を開催
平成29年12月27日、府中の森 芸術劇場ウィーンホールで第53回定期演奏会を開いた。アルヴァマー序曲/J・バーンス、歌劇「トゥーランドット」より/G・プッチーニ(編・後藤洋)、ユーミン・ポートレート/荒井由美&松任谷由実(編・真島俊夫)、ドラゴンクエストによるコンサート・セレクション/すぎやまこういち(編・真島俊夫) 他を演奏した。

2位の日本農業新聞賞に大石明日香(経1)が選ばれた。

第72回国民体育大会ボクシング競技会 中野2連覇

第72回国民体育大会ボクシング競技会(10月5日〜9日)が愛媛県松前町で開催され、各県代表として農大から7人が出場した。バンタム級の中野幹士が優勝し大会2連覇を達成、フライ級の北浦龍馬とミドル級の黒柳禅は準優勝。



優勝した中野選手



北浦選手④



黒柳選手

オホーツク競技スキー部

第73回国民体育大会冬季大会スキー競技会(2月25〜28日、新潟県妙高市)
クロスカントリ・リレー(フリー) 成年男子4×10ギに長谷川晶俊(食香4)が福井県チームの1走で出場し1位。

第91回全日本学生スキー選手権大会(3月1〜5日、長野県野沢温泉村)
▽男子1部総合で8位。▽クロスカントリ30ギクラシカルで内田亜汰瑠(食香3)5位、長谷川晶俊7位。▽クロスカントリ・リレー(4×7.5ギ)5位。1走長谷川晶俊、2走内田亜汰瑠、3走丸山虎之丞(産地1)、4走釜石和(産生1)。

自動車部

2年女子2位、2年男子6位。
第8回全日本大学カーリング選手権(29年12月1〜3日、青森市・みちぎんどriumスタジアム)
男子、女子とも出場し、男子チームがベスト4。

29年度全日本学生自動車運転技術選手権大会(29年11月26日、近鉄自動車学校)
女子は団体の部で4位、小型乗用の部で吉田真依(健康4)が6位、小型貨物の部で吉川瑠美(林4)が4位。

男子は小型貨物の部で望月健太(経4)が7位。
全関東総合杯
12月9日(土)に開かれた全日本学生自動車連盟関東支部総会において、全関東総合杯女子団体の部で準優勝、女子個人の部では吉川瑠美が準優勝、吉田真依が3位となり、表彰された。



表彰された吉川選手④と吉田選手

オホーツクカーリング部

NHK杯で健闘

29年10月3〜5日、オーブン戦のNHK杯に農大から8チームが出場し、農大Cが3位、農大Gが4位と健闘した。

大学リーグ新人戦(29年10月28、29日)

編集後記



▼箱根駅伝募金が始まりました。常磐の松風、青山ほとり(大根踊り)を歌い、農大で学んだお陰で「我が人生の今がある」とする母校愛。箱根路を松葉緑のたすきが走る姿は、母校愛が湧き出る一瞬であり、校友の誰しもが箱根を熱望している。目的は箱根出場への支援だが、母校と校友との絆を募金というかたちの中で感じてもらうことでもある。各位のご協力をお願いしたい。

▼石川委員は4月に東京情報大学に転動された。永年のご協力に感謝申し上げます。(小野)

編集委員
委員長 小泉 幸道
(副会長・名誉教授)
委員 館 博
(醸造科学科教授)
委員 豊原 秀和
(常任理事・名誉教授)
委員 石川 浩一
(前法人本部総務部長)
委員 小野 甲二
(常任理事・事務局長)